VELXUS 500LE/300

セットアップマニュアル

ご注意

⑴ 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
⑵ 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
⑶ 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
⑷ 運用した結果については、⑶項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
⑸ ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
⑹ 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
⑺ カノープス、CANOPUS/ カノープス、ProCoder、ADVC、EDIUS およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
⑻ Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
⑼ QuickTime は、米国 Apple Computer,Inc. の登録商標です。
⑽ Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Photoshop、Adobe Premiere Pro、After Effect は、Adobe Systems Incorporated-（アドビシステムズ社）の商標です。
⑾ Intel、Pentium、Xeon は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
⑿ HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
⒀ その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
■ 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
■ 本書では、EDIUS Pro version 4 や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。
■ 本書では、Microsoft® Windows® XP Professional operating system を Windows XP Professional、または Windows XP と表記します。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system を Windows XP Home Edition、または Windows XP と表記します。
■ 本書では、Adobe Photoshop を Photoshop、Adobe Premiere Pro を Premiere Pro、Adobe After Effects を After Effects と表記します。

ご使用の前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味

この記号はしてはいけないことを表しています。

この記号はしなければならないことを表しています。

この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

警告

●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。
パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。
静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。

注意

●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。
消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。

●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。

●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。
製品を取り扱うときは､手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。
動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

VELXUS 500LE/300
セットアップマニュアル
August 4, 2006
Copyright © 2006 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

目　次

Summary

概　要

1 マニュアルについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2 ご確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
　ご使用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

Chapter 1

セットアップ

1 ハードウェアセッティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　ボードの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　VELXUS Bay（NHX-B10）の取り付け（オプション）・・・・・・・・・・・16
　各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
2 インストール／アンインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
　EDIUS をインストールする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　付属のアプリケーションソフトウェアをインストールする ・・・・・・・・・ 26
　インストール後の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
　アンインストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
3 ライセンス移動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
　ライセンスを移動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

Chapter 2

EDIUS の使用

1 HDV 映像の運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
2 EDIUS の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
　プロジェクト設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
　キャプチャ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
　ハードウェア設定（NHX-E1/E2 設定） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

Chapter 3

Premiere Pro Plug-in

1 プラグイン使用の制限事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68

2 Premiere Pro の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70

Premiere Pro の初期設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70

デバイスの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

キャプチャ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

テープへ書き出し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84

設定ダイアログ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86

Chapter 4

Video-Out プラグイン

1 Video-Out プラグインの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98

使用前の前準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98

2 After Effects Video-Out プラグイン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100

After Effects Video-Out プラグインの使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・100

3 Photoshop Video-Out プラグイン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102

Photoshop Video-Out プラグインの使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・102

Chapter 5

ADVC Mode Controller

1 ADVC Mode Controller の機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104

ADVC モードの使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104

設定ダイアログ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106

APPENDIX

付　録

1 ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112

メインボード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112

エクスパンションボード（HX-HD1） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113

VELXUS Bay（NHX-B10）（オプション） ・・・・・・・・・・・・・・・・・114

2 コーデックについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115

3 入出力フォーマット一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118

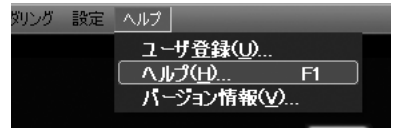
編集プロファイル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118

入力デバイス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123

概　要

1 マニュアルについて

付属マニュアルの構成

EDIUS ユーザーズガイド	EDIUS を使用したビデオ編集の流れ。 EDIUS の機能紹介。
リファレンス マニュアル	EDIUS の操作手順。
ヘルプ	EDIUS の操作設定画面の解説。 EDIUS から起動するアプリケーションソフトの解説。  ※ EDIUS を起動し、メニューバーから表示するヘルプとなります。
VELXUS 500LE/300 セットアップ マニュアル （本書）	セットアップ。 EDIUS の使用について。 プラグインの使用について。 ※本製品に特化した機能については本書で説明しています。その他の機能については別冊のマニュアルをご覧ください。

2 ご確認

ご使用の前に

使用許諾契約

本製品をご利用いただくには、この使用許諾契約の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、インストールを中止して、下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。
このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がインストールを完了された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープスカスタマーサポート

〒651-2241　神戸市西区室谷1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
製品本体の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。
本製品を使用して、第三者の著作物を録音・録画する場合、特定の場合を除き著作権の侵害となる場合があります。本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。著作権侵害の可能性は、使用環境によって異なりますので、事前にお客様の顧問弁護士に確認されることをお勧めいたします。

サポートについて

本製品のユーザーサポートは登録ユーザー様を対象としております。サポートをお受けいただくために、ユーザー登録を必ず行ってください。ご登録されていない場合は、ユーザーサポートをお受けいただけません。
同梱されている各製品の保証（サポート）期間は次のとおりです。

- ハードウェア（一部接続ケーブル等を除く）保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- EDIUS（当社製アプリケーションソフトウェア）無償サポートは、ユーザー登録完了後のお問い合わせ時にサポート開始の同意を得られた後より 90 日間となります。

※ 91 日以降の有償サポートの形態については、「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせ」、もしくは当社ホームページをご覧ください。

ご注意

- サポートについてのお知らせは、EDIUS version 4 Installation CD の［Manual］→［JP］フォルダに収録されています。
- ソフトウェアについて
  「重要・サポートについてのお知らせ 4.2.pdf」、「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせ V1.2.pdf」をご覧になるには、Adobe Reader が必要です。お使いの PC に Adobe Reader がインストールされていない場合は、EDIUS version 4 Installation CD を開き、［Tools］→［Acrobat］フォルダから、［AdbeRdr707_ja_JP.exe］を実行してください。Adobe Reader がインストールされます。

当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページ（http://www.canopus.co.jp）にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、アプリケーション、製品マニュアル（PDF 形式）、FAQ などを公開していますので、当社ホームページにぜひアクセスいただき快適なビデオ編集環境を実現してください。

個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせします。
当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはございません。

(1) ご利用の当社製品のサポートの実施
(2) 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
※ 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供します。
(3) 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
(4) ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内などの情報提供
(5) 懸賞企画などで当選された方やお客様への賞品の発送
※ お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問合せは http://www.canopus.co.jp/info/ までご連絡ください。

製品のお問い合わせ窓口について

ご使用方法や、このマニュアルについて不明な点、疑問点などがございましたらカノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
お問い合わせの前には必ず以下の内容をご準備の上、お問い合わせください。

⑴ ご使用になっておられる PC の名称型番
　メーカー製の場合　　：メーカー名と型番
　自作、オーダーメイドの場合 ：マザーボード型番、CPU、チップセット、
　　サウンドボード、グラフィックボード
⑵ オペレーティングシステム（Windows など）のバージョン
⑶ ハードディスクの容量、メモリの容量
⑷ 他に取り付けられている拡張ボードのメーカー名と製品名
⑸ 周辺機器があればそのメーカー名と製品名
⑹ 他に併用している当社製品があれば製品名とバージョン番号

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

テクニカルサポート窓口　TEL 078-992-9940

製品の使用方法など技術的相談に関するご質問承り窓口です。
〒 651-2241　神戸市西区室谷 1-2-2
カノープス株式会社　テクニカルサポート宛
10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00
（土日祝日、当社指定休日は除く）

テクニカルメールサポート

テクニカルメールサポートにつきましては、製品をご登録いただきました後にメールにて窓口をご案内させていただきます。

カスタマーサポート窓口　TEL 078-992-5846

ユーザー登録のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。
〒 651-2241　神戸市西区室谷 1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛
10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00
（土日祝日、当社指定休日は除く）

カスタマーメールサポート

http://www.canopus.co.jp/info/

サポート&サービス［FAQ］ページ

http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm

動作環境

PC 本体

下記の条件を満たす PC/AT 互換機

- CPU：

  VELXUS 500LE ..... Intel Pentium 4 2.8GHz 以上の CPU
  （HD 解像度の編集時は、Intel Xeon 2.8GHz デュアルプロセッサ（ハイパースレッディング）以上を推奨）

  VELXUS 300..... Intel Pentium 4 2.4GHz 以上の CPU
  （HD 解像度の編集時は、Intel Pentium D 3.0GHz 以上を推奨）
  ※ マルチプロセッサ、ハイパースレッディング対応

PCI バス

下記の条件を満たすバススロットに空きが必要

- メインボード：

  VELXUS 500LE .....PCI（32bit/33MHz PCI Ver2.1 以上）× 1
  ※ SD フォーマットのみで使用の場合は、32bit/33MHz PCI（PCI Ver 2.1）で可。

  VELXUS 300.....PCI Express x1（PCI Express Spec. Revision 1.1）× 1

- エクスパンションボード：PCI（32bit/33MHz PCI Ver2.1 以上）× 1

メモリ

VELXUS 500LE ..... 1 GB 以上
VELXUS 300.....512MB 以上（HD 解像度編集時 1 GB 以上を推奨）

ハードディスクドライブ

- ソフトウェアのインストールに 800MB 以上の空き容量が必要
- 映像用に ATA100/7200 回転以上のドライブが必要

※ 非圧縮ファイルを含むストリームを 2 つ以上再生するには Ultra 160 SCSI 以上が必要
※ HD 解像度編集を行う場合は RAID 0 を推奨
※ ハードディスクドライブの空き容量は、編集するファイル容量の 2 倍程度必要

グラフィック

1024 × 768 ドット 32bit 以上の解像度をもち、DirectDraw のオフスクリーンによるオーバーレイに対応し、かつ以下の VRAM を搭載したもの

- SD 解像度編集は 64MB 以上
- HD 解像度編集、および Xplode を使用する場合は 128MB 以上のグラフィックメモリが必要

サウンドシステム

WDM ドライバに対応したもの

Chapter 1

セットアップ

1 ハードウェアセッティング

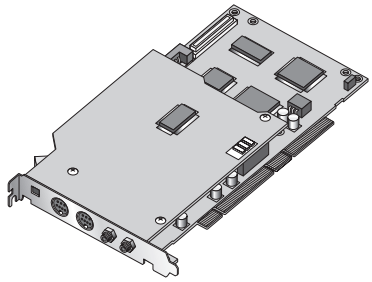
ボードの取り付け

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほこりの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

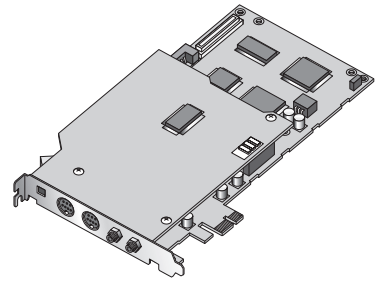
使用する部品は次のとおりです。

• メインボード

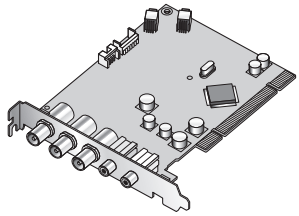
VELXUS 500LE（NHX-E1）



VELXUS 300（NHX-E2）



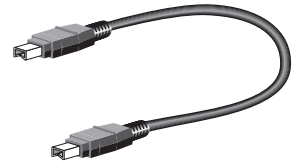
• エクスパンションボード（HX-HD1）



• ボード接続ケーブル（6pin-6pin）

• オーディオケーブル（4pin-4pin）

• DV ケーブル（24cm）



ご注意 ここでは、VELXUS 300 の装着方法を例に説明します。VELXUS 500LE も同様の手順で装着してください。

1 **PC をシャットダウンし、電源を切ります。**

2 **電源ケーブルなどのケーブル類を取り外します。**

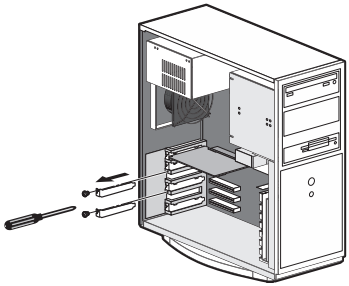
POINT 取り外す時に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

3 **PC のカバーを取り外します。**

取り外し方は、PC 付属の取扱説明書をご確認ください。

4 **メインボード、エクスパンションボードを装着する PCI スロット位置のスロットカバーを取り外します。**

※ PCI スロットの種類については、ご使用の PC の取扱説明書をご確認ください。
※ 取り外したスロットカバーは使用しません。失くさないように保管してください。



POINT VELXUS 500LE をご使用の場合、メインボードは PCI スロット（64bit/66MHz PCI）※に、VELXUS 300 の場合は PCI Express スロット（PCI Express x1）に装着してください。
※ SD フォーマットのみで使用する場合は、32bit/33MHz PCI でも可。

5 メインボード、エクスパンションボードの取り付け位置を確認します。確認事項は次のとおりです。

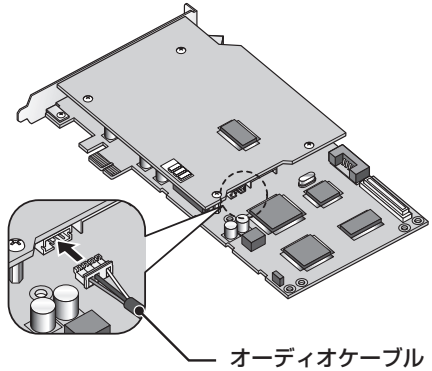
- メインボードとエクスパンションボードは、同梱の接続ケーブル（ボード接続ケーブル、オーディオケーブル、DV ケーブル）で接続を行います。本項目を最後までご覧になり、接続用ケーブルの長さをご確認の上で取り付け位置を選定してください。
- メインボード､エクスパンションボードは､一度仮組みを行いパソコンのマザーボードや他の拡張ボード（グラフィックボード、オーディオボードなど）と干渉が起きないことをご確認の上で取り付け位置を決定してください。

※ PCI Express x1 スロットが使用できない場合は、空いている PCI Express x4、x8 スロットに取り付けることができます。

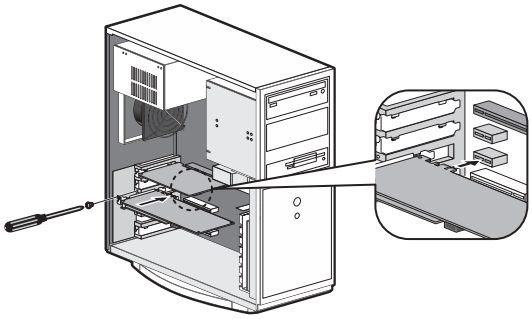
※ メインボードの PCI Express x1 端子の取扱いにはご注意ください。衝撃や予期しない荷重により折損する場合があります。

POINT 当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は､ボードを一度取り外し､引っかかりの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI Express および PCI の規格によって設計されていますので、PC に何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、PC メーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

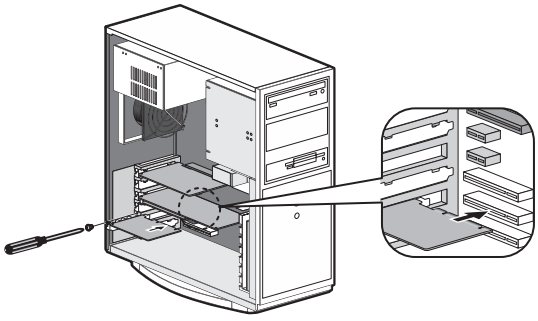
6 メインボードにオーディオケーブル（4pin-4pin）を取り付けます。



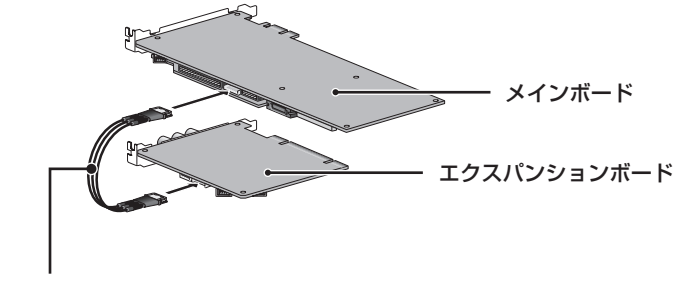
7 メインボードを PCI Express スロット（VELXUS 500LE の場合は PCI スロット）にしっかりと差し込み、ブラケットを仮止めします。



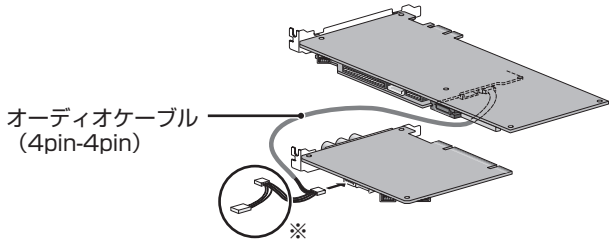
8 エクスパンションボードを PCI スロットにしっかりと差し込み、ブラケットを仮止めします。



9 メインボードとエクスパンションボードを同梱のボード接続ケーブル（6pin-6pin）で接続します。



10 エクスパンションボードにオーディオケーブル（4pin-4pin）を接続します。

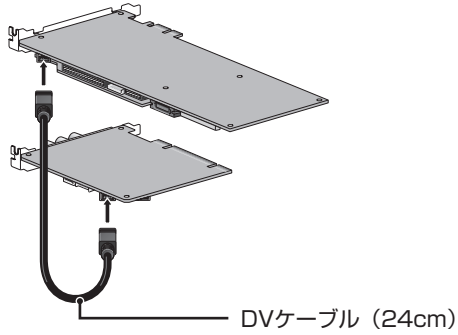


※ エクスパンションボードと接続する場合、この２つのコネクタは使用しないでください。

POINT オーディオをエクスパンションボード以外のサウンドデバイス（オンボードのサウンドデバイス、サウンドボード）から出力する場合の接続方法については、「オーディオ出力について」P15 を参照してください。

11 メインボードとエクスパンションボードを同梱の DV ケーブル（24cm）で接続します。

※ DV ケーブル（24cm）は、エクスパンションボードの２つの DV 端子のどちらに接続してもかまいません。



12 全体の接続を確認し、ブラケットの取り付けネジを締めます。

13 PC のカバーを取り付けます。

14 電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。

オーディオ出力について

オーディオケーブル（4pin-4pin）の仕様は次のとおりです。

赤：右チャンネル（R）
白：左チャンネル（L）
黒：グラウンド（G）

オーディオケーブル（4pin-4pin）

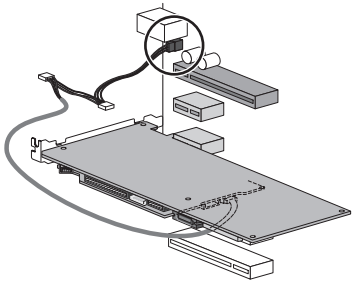
オーディオ出力を行うには、出力先のサウンドデバイスとメインボードを、同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）で接続します。

※ 同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）は、形状、配線仕様が異なる 3 つのコネクタに分岐しています。分岐していない側はメインボードに、分岐している側は出力先のサウンドデバイスに接続します。接続先のコネクタ形状、および配線仕様に適合するコネクタをご使用ください。同梱のオーディオケーブル（4pin-4pin）が使用できない場合は、別途オーディオケーブルをご用意ください。

オンボードのサウンドデバイスから出力する場合

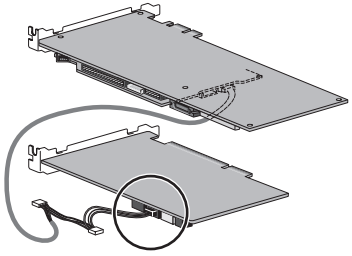
オーディオケーブルをマザーボードの端子と接続します。

※ オンボードサウンドデバイス（マザーボードに実装されているサウンドデバイスです。詳しくはご使用の PC、もしくはマザーボードの取扱説明書を参照してください）のコネクタ位置によっては、スロットに装着したボードと干渉する場合がありますのでご注意ください。



サウンドボードから出力する場合

オーディオケーブルをサウンドボードの端子と接続します。



VELXUS Bay（NHX-B10）の取り付け（オプション）

取り付けを行う前に、作業を行うことができるほこりの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

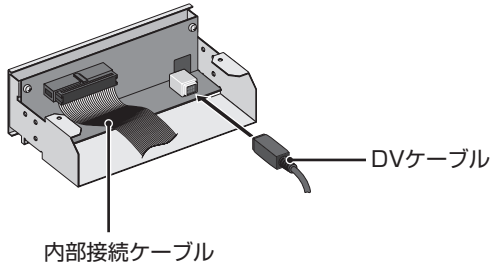
1 PC をシャットダウンし、電源を切ります。

2 電源ケーブルなどのケーブル類を取り外します。

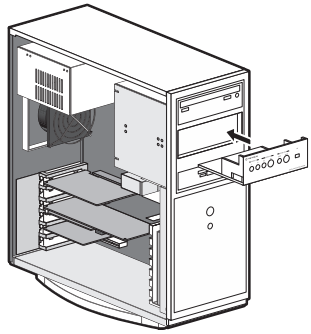
3 PC のカバーと、フロント 5 インチベイのカバーを取り外します。

※ 取り外し方法は、PC 付属の取扱説明書をご確認ください。

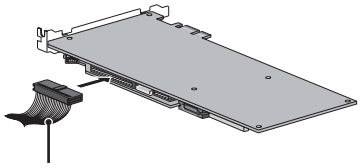
4 VELXUS Bay に同梱の DV ケーブルを、VELXUS Bay に接続します。また、内部接続ケーブルの接続を確認します。



5 VELXUS Bay を PC に取り付けます。

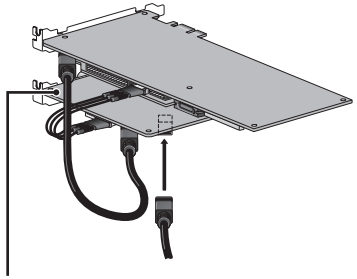


6 メインボードに内部接続ケーブルを接続します。



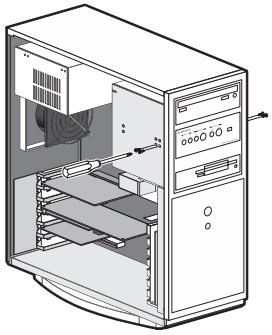
内部接続ケーブル

7 エクスパンションボードに DV ケーブルを接続します。



エクスパンションボード

8 VELXUS Bay をネジで固定します。

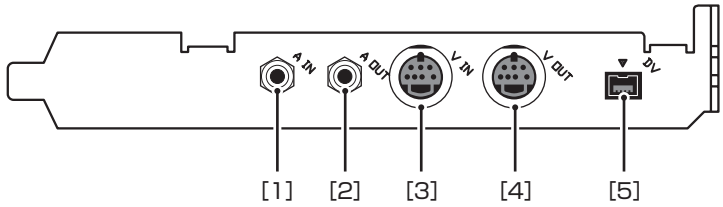


9 PC のカバーを取り付けます。

10 電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。

各部名称

メインボード（NHX-E1/E2） リアパネル



[1] アナログオーディオ入力端子（ステレオミニジャック）

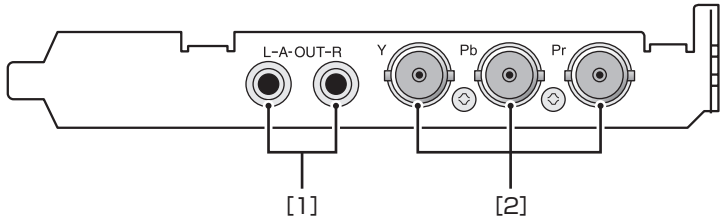
[2] アナログオーディオ出力端子（ステレオミニジャック）

[3] アナログビデオ入力端子（ミニ DIN7 ピン）
S ビデオケーブルを直接接続できます。ピンジャック（コンポジット）は、付属のアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。

[4] アナログビデオ出力端子（ミニ DIN7 ピン）
S ビデオケーブルを直接接続できます。ピンジャック（コンポジット）は、付属のアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。

[5] DV 端子（DV4 ピン）

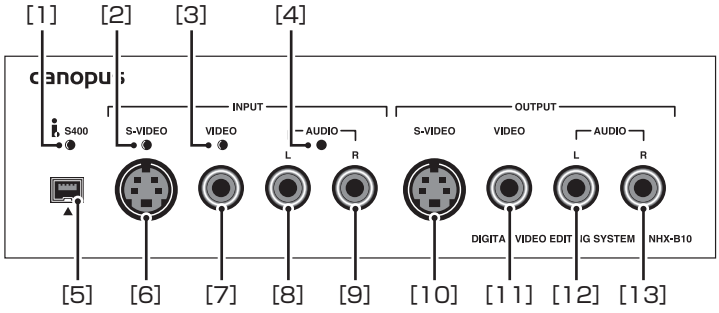
エクスパンションボード（HX-HD1） リアパネル



[1] アンバランスオーディオ 2ch 出力端子（ピンジャック）
メインボードのアナログオーディオ出力と同時使用が可能です。

[2] HD/SD コンポーネント出力端子（BNC）

VELXUS Bay（NHX-B10） フロントパネル（オプション）



[1] DV インジケータ
DV 入出力時に点灯します。

[2] INPUT S-VIDEO インジケータ
S ビデオ入力時に点灯します。

[3] INPUT VIDEO インジケータ
コンポジットビデオ入力時に点灯します。

[4] INPUT AUDIO インジケータ
アナログオーディオ入力時に点灯します。

[5] DV 端子

[6] INPUT S-VIDEO 端子（S- ビデオ入力）

[7] INPUT VIDEO 端子（コンポジットビデオ入力）

[8] INPUT AUDIO L 端子（音声入力 / 左）

[9] INPUT AUDIO R 端子（音声入力 / 右）

[10] OUTPUT S-VIDEO 端子（S- ビデオ出力）

[11] OUTPUT VIDEO 端子（コンポジットビデオ出力）

[12] OUTPUT AUDIO L 端子（音声出力 / 左）

[13] OUTPUT AUDIO R 端子（音声出力 / 右）

2 インストール／アンインストール

EDIUS をインストールする

ご注意
- ボードを装着した後に PC を起動すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］が起動しますが、ここでは［キャンセル］を選んでください。
- インストールを始める前に、常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- Administrator 権限（PC の管理者など）を持つアカウントでインストール作業を行ってください。
- 当社製 MVR-D2000 および MTV シリーズ（MTVX シリーズは不可）をお持ちの場合は、あらかじめこれらの製品のドライバとアプリケーションソフトのインストールを行っておいてください。
- After Effects、PhotoShop、および Premiere Pro 用のプラグインを使用する場合は、あらかじめこれらの製品のインストールを行っておいてください。
- インストールされるアプリケーションは、モデルにより異なる場合があります。
- EDIUS version 4 をインストールする場合、version 4 以前の EDIUS はアンインストールされます。インストールを行う前に、キーボードショートカットなどのカスタマイズした設定ファイルのバックアップをとり、アンインストールしておいてください。

1 EDIUS version 4 Installation CD を CD-ROM ドライブにセットします。

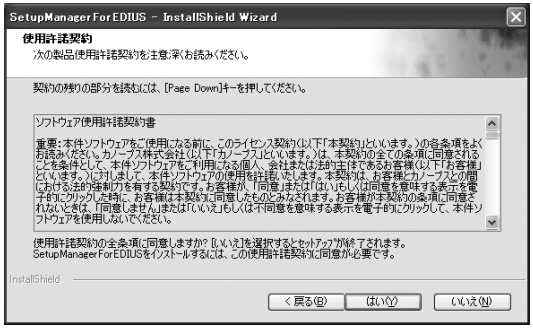
自動起動しない場合は、EDIUS version 4 Installation CD を開き、［SetupManagerForEDIUS.exe］をダブルクリックしてください。

［InstallShield Wizard］ダイアログが表示されます。

POINT PC に version 4 以前の EDIUS がインストールされている場合は、画面にしたがってアンインストールを行い、PC を再起動してください。

2 ［次へ］をクリックします。

3 使用許諾契約に同意される場合は、［はい］をクリックします。



POINT ［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。使用許諾契約に同意いただけない場合は、インストールを中止し、書面にて当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

ご注意 使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

4 ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力し、［次へ］をクリックします。

ご注意
- シリアル番号は、EDIUS version 4 Installation CD が入っている袋に貼付されている、6 桁- 16 桁の番号を入力してください。
- シリアル番号は再発行できませんので、紛失されないように大切に保管してください。

5 EDIUS をインストールするフォルダを指定し、[次へ] をクリックします。

他のフォルダにインストールする場合は、[参照] をクリックし、フォルダを選択します。

6 インストールする項目にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

[HX-E1] にチェックが入っていることを確認してください。

7 ［デスクトップにショートカットを作成する］にチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

8 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

EDIUS のインストールが開始されます。

POINT ダイアログに次のメッセージが追加されることがあります。
「Xplode EDIUS を HD サイズのプロジェクトで使用する場合は、128MB 以上のグラフィックメモリを持ったグラフィックカードが必要です。」
このメッセージは、HD 解像度編集で Xplode EDIUS を使用した場合、使用しているグラフィックカードの性能が動作条件を満たさない可能性がある場合に表示されます。

9 **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選び、［完了］をクリックします。**

PC が再起動します。EDIUS のインストールは完了です。

POINT EDIUS を使用する際は、PC の USB ポートに USB キーを装着してください。正しく認識されると、新しいハードウェアが見つかったことを表すメッセージが表示されます。

TitleMotion Pro for Canopus のインストール（VELXUS 300 のみ）

POINT TitleMotion Pro for Canopus は、EDIUS をインストールした後にインストールしてください。

1 **TitleMotion Pro for Canopus のインストール CD（TITLEMOTION PRO for Canopus）を CD-ROM ドライブにセットします。**

［SetupManager For EDIUS］ダイアログが表示されます。

2 **［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。**

パソコンが再起動します。TitleMotion Pro for Canopus のインストールは完了です。

POINT 同梱されているバンドルソフトウェアのインストールについては、各ディスク（CD-ROM、DVD-ROM）に含まれるマニュアル、ヘルプ等をご覧ください。

付属のアプリケーションソフトウェアをインストールする

付属アプリケーションソフトウェアは、必要に応じてインストールしてください。

Bonus CD の内容

Bonus CD は、以下の内容になっています。

Adorage	Adorage Canopus Edition 3D トランジションパック（英語版）が収録されています。プリセットのアニメーション 3D トランジションが数多く用意されているほか、カスタマイズも可能です。 ［AdoCanopus1.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。
DVCapture	IEEE1394（OHCI）ポートに接続した最大 2 台のカメラと、VELXUS に接続したカメラとで、計 3 台からの同時キャプチャが可能な DV キャプチャツールです。DV のタイムコードの切れ目を検出し、自動的にファイルを分割する機能も搭載しています。 ［CDVCap.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。
Imaginate2Demo	高解像度の静止画を使って、簡単な操作で本格的なアニメーション作成ができるアプリケーションソフトウェア、Imaginate 2.0 をお試しいただけます。 ※試用期間は 15 日です。 ［Japanese］フォルダ内の［Install.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。
MPEGCapture	当社製 MTV シリーズ、MTU シリーズ、HDV 機器を使用して MPEG ファイルの取り込みを行えるソフトウェアです。インストールすると、EDIUS のメニューバー［キャプチャ］から、MPEG Capture を起動できるようになります。 ［setup.exe］をダブルクリックし、画面にしたがってインストールしてください。
SoundSoap	SoundSoap 2 VST Plugin（英語版）が収録されています。さまざまなメディアファイルのクリック、クラックル、ヒス、ハム、バズ、ランブルなどのノイズ成分を除去／軽減します。詳しくは、付属の PDF マニュアルをご覧ください。
Canopus Plug-ins	Adobe After Effect 6.5/7.0、Adobe Photoshop CS/CS2、Adobe Premiere Pro 1.5 を使用するためのプラグインです。
Keyboard Shortcut	デフォルトショートカットキーファイル、「Avid shortcut for EDIUS.dat」、「EDIUS Pro3 shortcut.dat」、「FinalCutPro shortcut for EDIUS.dat」が収録されています。

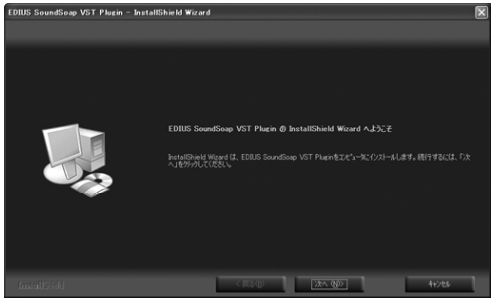
SoundSoap のインストール

1 Bonus CD を CD-ROM ドライブにセットします。

2 [SoundSoap] フォルダを開き、[EDIUSSoundSoapVSTPlugin.exe] をダブルクリックします。

[InstallShield Wizard] ダイアログが表示されます。

3 [次へ] をクリックします。

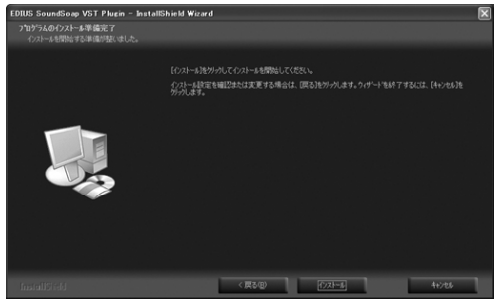

EDIUS SoundSoap VST Plugin - InstallShield Wizard
EDIUS SoundSoap VST Plugin @ InstallShield Wizard へようこそ
InstallShield Wizard は、EDIUS SoundSoap VST Plugin をコンピュータにインストールします。続行するには、[次へ] をクリックしてください。
InstallShield
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

4 使用許諾契約に同意される場合は、[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

EDIUS SoundSoap VST Plugin - InstallShield Wizard
使用許諾契約
次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。
INSTALL LICENSE AGREEMENT
This legal document is an agreement between you, the end user ("YOU" or "LICENSEE"), and BIAS, Inc. BY CLICKING "INSTALL" ON THE FOLLOWING DIALOG, YOU ARE AGREEING TO BECOME BOUND BY THE TERMS OF THIS AGREEMENT, WHICH INCLUDES THE SOFTWARE LICENSE AND THE SOFTWARE DISCLAIMER OF WARRANTY (collectively the "Agreement"). CLICK "QUIT" ON THE FOLLOWING DIALOG IF YOU DO NOT ACCEPT THE TERMS OF THIS AGREEMENT. THIS AGREEMENT CONSTITUTES THE COMPLETE AGREEMENT BETWEEN YOU AND BIAS, INC. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS AGREEMENT, DO NOT USE OR REGISTER THE SOFTWARE AND PROMPTLY RETURN THE SOFTWARE AND THE OTHER MATERIALS (INCLUDING WRITTEN MATERIALS, BINDERS OR OTHER CONTAINERS) THAT ARE PART OF THIS PRODUCT TO THE PLACE WHERE YOU OBTAINED THEM FOR A FULL REFUND. YOUR USE OF THIS SOFTWARE SHALL CONSTITUTE ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT, AND ONCE YOU HAVE REGISTERED THE SOFTWARE YOU MAY NOT RETURN IT.
BIAS SOFTWARE LICENSE
1 GRANT OF LICENSE. In consideration of payment of the license fee, which is part of the price you paid for this product, BIAS, as Licensor, grants to you, LICENSEE, a non-exclusive license to use and display this copy of a BIAS software program (the "SOFTWARE") and accompanying user documentation ("DOCUMENTATION"). LICENSEE may install and use the SOFTWARE on only one COMPUTER at one time, and such SOFTWARE may be used by only one user at a time. BIAS reserves all rights not expressly
使用許諾契約の全条項に同意します(A)
使用許諾契約の全条項に同意しません(D)
InstallShield
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

ご注意 使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

5 ［インストール］をクリックします。



［Authorize SoundSoap］ダイアログが表示されます。ライセンス認証を行ってください。

6 ［Register Online］をクリックします。

Authorize SoundSoap
SoundSoap 2
This copy of SoundSoap is in a time limited registration period until a Product Authorization Code is entered.
After you Register SoundSoap with BIAS, enter your serial number (located on your SoundSoap Owner's Certificate) and the Product Authorization Code BIAS sent back to you.
Name
Organization
Serial Number
Authorization
Still Waiting for Product Authorization Code
Register Online ...
Authorize

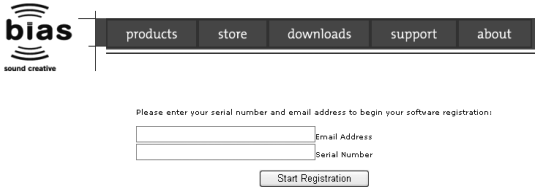
すでに登録がお済みの場合

Name（お名前）、Organization（会社名、部署名など。個人使用の場合は空欄にしてください）、Serial Number（BSS から始まるシリアル番号）、Authorization（登録時送付されるメールに記載されている Authorization Code）を入力し、［Authorize］をクリックしてください。

以前登録した際に送付されたメールを紛失され、Authorization の番号がわからない場合は、下記サイトにアクセスし、登録された E-Mail アドレスおよび、SoundSoap のシリアル番号を入力すると確認できます。

http://www.bias-inc.com/support/register/

7 メールアドレス、シリアル番号を入力し、[Start Registration] をクリックします。



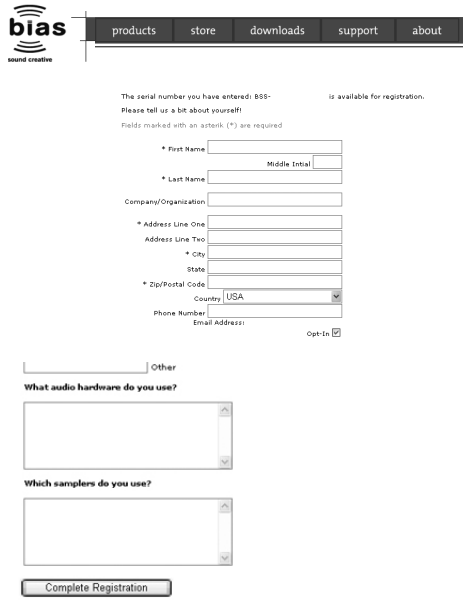
POINT

- シリアル番号は、EDIUS version 4 Installation CD が入っている袋に貼付されている、BSS から始まる番号です。EDIUS のシリアル番号シールの上に貼付されています。
- EDIUS をインストールする PC がインターネットへ接続できない場合は、インターネットが利用できる PC で http://www.bias-inc.com/support/register/ へアクセスし、手順 6、7 を行ってアクティベーションと Authorization Code の取得を行ってください。

ご注意

- シリアル番号は再発行できませんので、紛失されないように大切に保管してください。
- シリアル番号および Authorization Code は、再インストール時にも必要になりますので、紛失しないようにご注意ください。
- メールアドレスをお間違いになりますと、後ほど発行される Authorization Code が送信されません。お間違いのないよう入力、確認のうえ、[Start Registration] をクリックしてください。

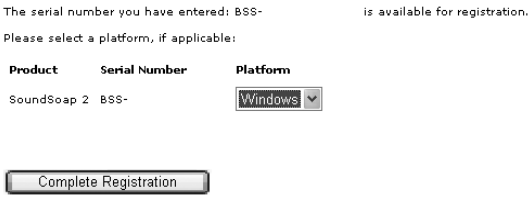
8 **登録に必要な情報をローマ字（半角英数）で入力し、[Complete Registration] をクリックします。**



「*」のある項目は、必ず入力してください。
First Name = 名前
Last Name = 苗字
Address Line One = 住所（例：1-2-2 Murotani, Nishi-ku）
City = 市郡（例：Kobe, Hyogo）
Zip/Postal Code = 郵便番号（例：655-2241）

POINT [Complete Registration] をクリック後、「The Serial Number you have entered: BSS-xxxxxxxxxxxxxx has already been registered to the email address.」と表示された場合は、すでに登録が完了しています。

9 [Platform] を Windows に変更し、[Complete Registration] をクリックします。



手順 7 で登録したメールアドレスに、BIAS 社からメールが届きます。

10 必要項目を入力し、[Authorize] をクリックします。

Authorize SoundSoap
SoundSoap 2
This copy of SoundSoap is in a time limited registration period until a Product Authorization Code is entered.
After you Register SoundSoap with BIAS, enter your serial number (located on your SoundSoap Owner's Certificate) and the Product Authorization Code BIAS sent back to you.
Name
Organization
Serial Number
Authorization
Still Waiting for Product Authorization Code
Register Online ...
Authorize

Name（お名前）、Organization（会社名、部署名など。個人使用の場合は空欄にしてください）、Serial Number（BSS から始まるシリアル番号）、Authorization（登録時送付されるメールに記載されている Authorization Code）を入力します。

POINT EDIUS をインストールする PC とは別の PC でアクティベーションと Authorization Code の取得をした場合は、その PC にメールで送付される Authorization Code を入力してください。

DV Capture のインストール

1 Bonus CD を CD-ROM ドライブにセットします。

2 [DVCapture] フォルダを開き、[CDVCap.exe] をダブルクリックします。

[InstallShield Wizard] ダイアログが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

4 使用許諾契約に同意される場合は、［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

ご注意 使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

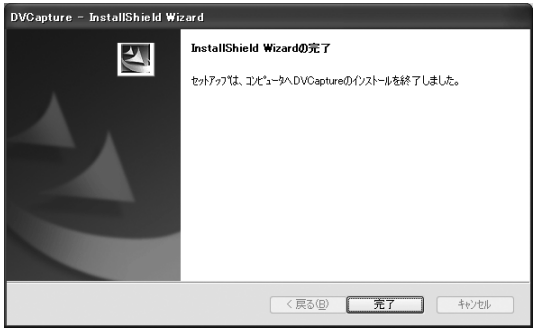
5 ユーザ名、会社名を入力し、［次へ］をクリックします。

6 DV Captureをインストールするフォルダを指定し、[次へ]をクリックします。

別のフォルダにインストールする場合は、［変更］をクリックし、フォルダを選択します。

7 ［インストール］をクリックします。

8 ［完了］をクリックします。



インストール後の確認

リソースの確認

ドライバ、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたかを確認してください。

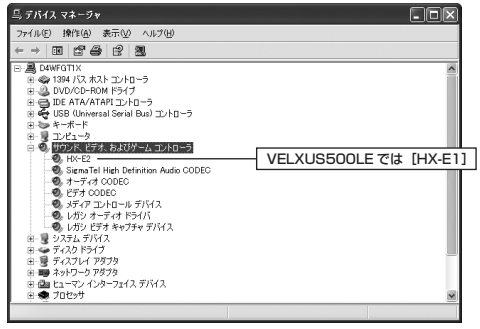
※ ここでは VELXUS 300 での確認方法を例に説明しています。

1 ［スタート］メニューの［コントロールパネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］へ進み、［コンピュータの基本的な情報を表示する］を選択します。

または［スタート］メニューのマイコンピュータ上で右クリックし､［プロパティ］を選択してください。

2 ［ハードウェア］タブを選択し、［デバイス マネージャ］をクリックします。

3 ［サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ］をダブルクリックします。



4 デバイス名を確認します。

- VELXUS 500LE 使用時.....［HX-E1］
- VELXUS 300 使用時.....［HX-E2］

デバイス名の頭に「！」や「×」のマークが表示されている場合、VELXUS シリーズのドライバが正常にインストールされていません。

再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しください。

5 ［デバイス マネージャ］を閉じます。

メインボード（NHX-E1/E2）のドライバの確認は以上です。

続けて、エクスパンションボードのドライバを確認します。

6 EDIUS、または ADVC Mode Controller を一度起動し、終了します。

POINT
- EDIUS の起動については、「EDIUS リファレンスマニュアル」の「EDIUS の起動」を参照してください。
- ADVC Mode Controller の起動については、「ADVC モードの使用」P104 を参照してください。

7 手順 1、2 を参照し、［デバイス マネージャ］を開きます。

8 次の項目をダブルクリックし、ドライバがインストールされていることを確認します。

- **項目－［1394 バス ホスト コントローラ］**
  ドライバ－［NEC OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］
- **項目－［イメージング デバイス］**
  ドライバ－［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player］
- **項目－［ネットワーク アダプタ］**
  ドライバ－［1394 ネット アダプタ］

※［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player#2］、［1394 ネット アダプタ #2］の "#2" は、何度かボードの抜き差しを行った場合などに表示される場合があります。表示内容はご使用の環境により異なります。

9 ［デバイス マネージャ］を閉じます。

リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

※ 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。

※ PC 本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、PC 本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

POINT IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI Express や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

アンインストールする

ドライバおよび EDIUS のアンインストール

ご注意
- アンインストールを始める前に、常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトウェアを終了してください。
- Administrator 権限（PC の管理者など）を持つアカウントでアンインストール作業を行ってください。

1 ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

2 ［EDIUS4（SetupManager）］を選び、［変更と削除］をクリックします。

3 ［次へ］ボタンをクリックします。

アンインストールを開始します。

4 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

PC が再起動します。アンインストールは完了です。

3 ライセンス移動

ライセンスを移動する

USB ポートの少ないノートパソコンで使用される場合や、USB キーを持ち歩きたくない場合に便利です。下記の「ご注意」の項目を必ずご確認のうえ、ライセンス移動を行ってください。

ご注意

- ライセンス移動ツールを使用するには、あらかじめ EDIUS がインストールされている環境で実行する必要があります。
- ライセンス移動ツールを終了するときは、必ずライセンスの移動を完了してから行ってください。完了前に終了すると、ライセンスが失われます。
- USB キーを紛失されますと、いかなる場合（ライセンス情報が PC にある場合など）においても、USB キーの再発行はできませんので厳重に管理してください。
- ライセンスは、PC ⇔ USB キー間、USB ⇔ USB 間でのみ移動が可能です。PC ⇔ PC 間の移動はできません。
- 同一製品のライセンスを複数お持ちの場合、そのライセンスを 1 つの USB キーへ集約することはできません。
- PC へのライセンスを移動させた場合、ハードディスクの故障や何らかの理由でシステムが故障すると、ライセンスが消失され、復旧できない危険性があります。特別な理由がない場合は、PC へのライセンス移動はお勧めしません。
- PC へのライセンスを移動させた場合、ハードウェアの構成を変更すると（CPU・メモリ・マザーボード・HDD・NIC など）、PC に登録したライセンスデータが無効になる可能性があります。

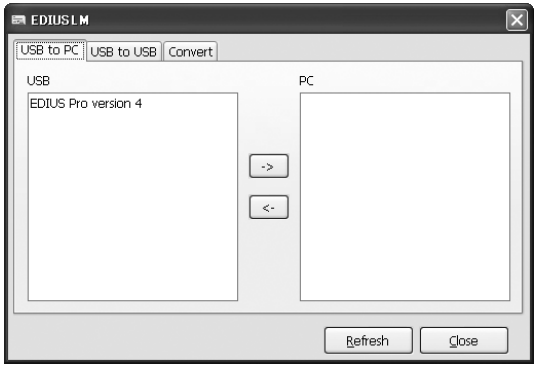
ライセンス移動ツールの起動

1 PC の USB ポートに移動するライセンスのある USB キーを装着します。

2 EDIUS version 4 Installation CD を CD-ROM ドライブにセットします。

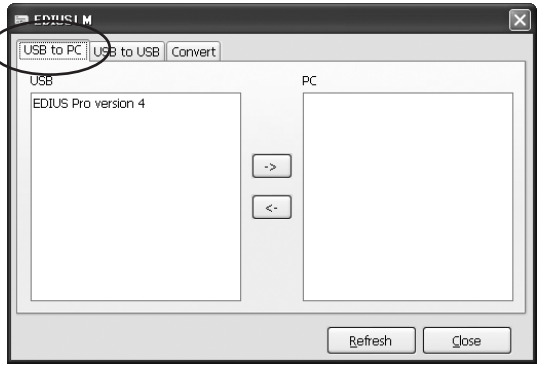
3 ［Tools］→［EdiusLM］フォルダ内の［EdiusLM.exe］をダブルクリックします。

［EDIUSLM］ダイアログが表示されます。



USB キーと PC のローカルディスク間の移動

1 ［EDIUSLM］ダイアログで［USB to PC］タブをクリックします。



2 移動させたいライセンスを選び、［->］をクリックします。

PC から USB キーへ移動する場合は、［<-］をクリックしてください。

3 移動が終わったら［Close］をクリックします。

USB キーから USB キーへの移動

1 ［EdiusLM］ダイアログで［USB to USB］タブをクリックします。

2 ライセンスを選び、[->]をクリックして移動候補に移動します。

3 移動させる USB キーに差し替え、［Refresh］をクリックします。

ご注意
- 異動先の USB キーを装着するときは、異動元の USB キーを取り外してから行ってください。
- USB キーの差し替えを行った場合は、必ず［Refresh］をクリックして、リストの更新を行ってください。

4 ライセンスを選び、[<-]をクリックして、USB に移動します。

5 移動が終わったら［Close］をクリックします。

ご注意
- ライセンスの移動中にUSBキーの抜き差しは行わないでください。
- ライセンスの移動は USB キーを 1 つずつ差し替えながら作業を行ってください。

Chapter 2

EDIUS の使用

1 HDV 映像の運用

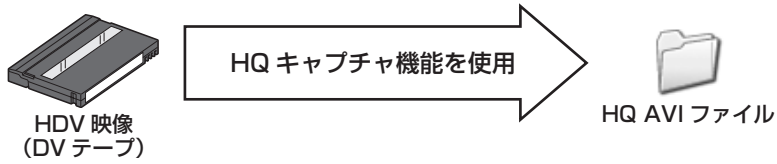
EDIUS を使用して HDV 映像のキャプチャと編集が可能です。
HDV の MPEG ファイル *1 を 1 時間キャプチャするには、約 13GB のファイル容量が必要です。キャプチャした MPEG ファイルを編集する予定がある場合は、編集時に軽快に動作する HQ AVI ファイル *2 でキャプチャ（HQ キャプチャ機能）することをお勧めします。ただし、HQ AVI ファイルは MPEG ファイルと比べ、ファイル容量が約 7 倍（映像や設定によって容量は上下します）になりますので、ハードディスク容量に注意が必要です。また、ご使用のパソコンの動作環境により HQ キャプチャ機能を使用できない場合があります。
HQ キャプチャを行うには、次の推奨以上の動作環境が必要です。

- HDV 編集の場合
  最低 :Intel Pentium 4 3.0 GHz（Hyper-Threading 対応）以上
  推奨 :Intel Pentium D 3.0 GHz（デュアルコア、EM64T）以上
  推奨 :Intel Xeon 2.8 GHz（Hyper-Threading 対応）× 2

※ HQ キャプチャが行えない場合は、HDV キャプチャと HQ AVI ファイルへの変換を別々に行ってください。

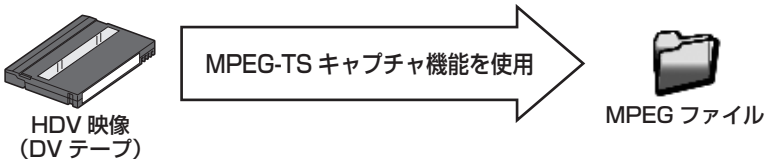
*1 ネイティブ MPEG（MPEG-TS 形式）ファイルです。この項目では MPEG ファイルと記載します。
*2 Canopus HQ Software Codec でリアルタイム・トランスコードキャプチャを行ったファイルです。HD 画質を高画質のまま変換します。

HQ AVI ファイルでキャプチャ



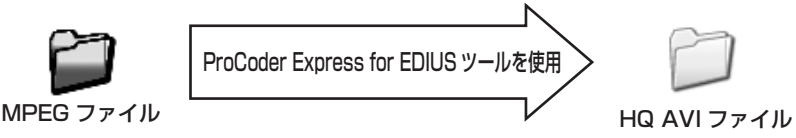
※ ハードディスクの容量にご注意ください。

MPEG（MPEG-TS 形式）でキャプチャ



MPEG（MPEG-TS 形式）ファイルを HQ AVI ファイルへ変換

編集を行う場合は、HQ AVI ファイルへの変換をお勧めします。



※ ハードディスクの容量にご注意ください。

HDV 機器へファイルを書き出す

POINT 詳しくは「EDIUS リファレンスマニュアル」を参照してください。

2 EDIUS の設定

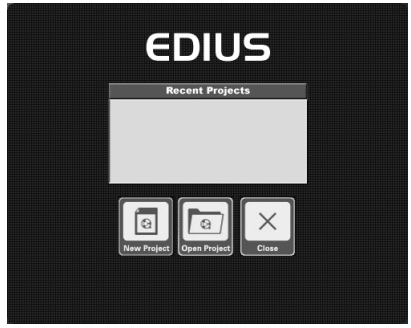
POINT **USB キーについて**
EDIUS を使用する際には、付属の USB キーを PC 本体に接続してください。USB キーを接続されない場合、EDIUS は 30 日の使用制限モードで動作し、インストール後 30 日で動作しなくなります。USB キーを接続せずに使用する方法については「ライセンスの移動」P39 を参照してください。

プロジェクト設定

EDIUS を起動すると、［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。このダイアログでは、ご使用の VTR、および編集形式に応じた出力インターフェースとコーデックを設定します。

※ ここでは、VELXUS 300 での設定方法を例に説明しています。VELXUS 500LE では、出力デバイスが［NHX-E1 xxx］と表示されます。設定項目の違いはありません。

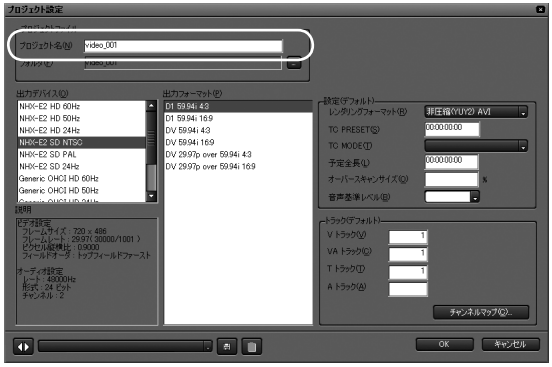
1 **EDIUS を起動し、［New Project］ボタンをクリックします。**



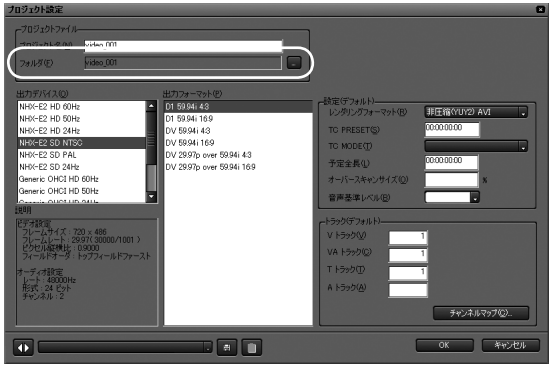
［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。

2 **［プロジェクト名］に、作業するプロジェクト名を入力します。**

※ プロジェクト設定の設定内容は、編集作業中に変更することが可能です。



3 **作業するフォルダを変更する場合は、［...］ボタンをクリックし、表示される［フォルダの参照］ダイアログからフォルダを指定します。**

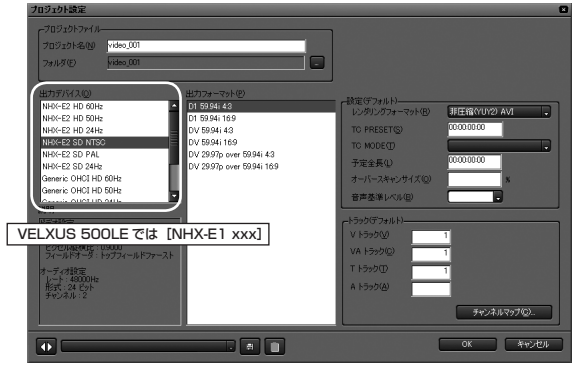


POINT EDIUS の作業効率を良くするために、フォルダはシステムのインストールされていないハードディスク（２台目のハードディスク等）に作成することを推奨します。

4 ［出力デバイス］を選択します。

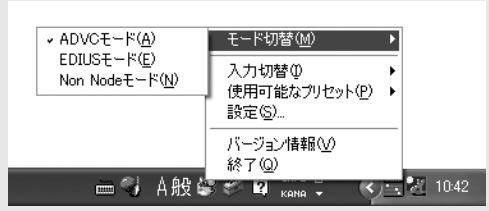
編集中のリアルタイムビデオ出力を行う場合や、アナログ映像音声、DV/HDV 映像の取り込み、DV 編集完了後のテープ出力を行う場合には、［NHX-E2 xxx］（VELXUS 500LE の場合は、［NHX-E1 xxx］）を選択します。

［Generic OHCI xxx］は、エクスパンションボードを装着していない状態で HDV 形式の映像を編集する場合に選択します。また、パソコンに装備されている IEEE1394 インターフェースとパソコン画面上のオーバーレイ画面だけを利用して編集する場合に使用します。



POINT 出力デバイスの選択については、「入出力フォーマット一覧」P118 を参照してください。

POINT ADVC Mode Controller は、エクスパンションボードを装着すると使用可能になるソフトウェアです。一度起動するとタスクトレイアイコンに常駐します。タスクトレイアイコンの右クリックメニューから、動作モードを切り替えることができます。

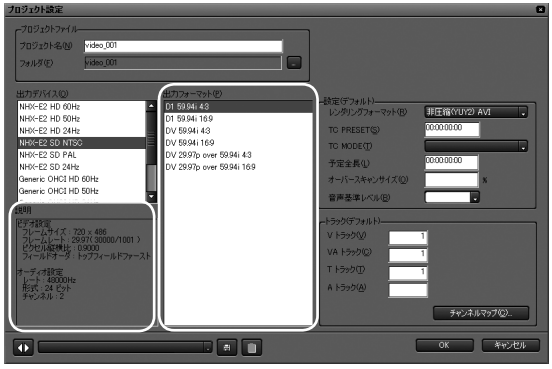


出力デバイスで［NHX-E1/E2］を使用する場合は、ADVC Mode Controller を［EDIUS モード］で使用してください。

POINT ADVC Mode Controller については、「ADVC Mode Controller の機能」P104 を参照してください。

5 ［出力フォーマット］からプリセットを選択します。

出力デバイスによって、選択可能なプリセットは異なります。



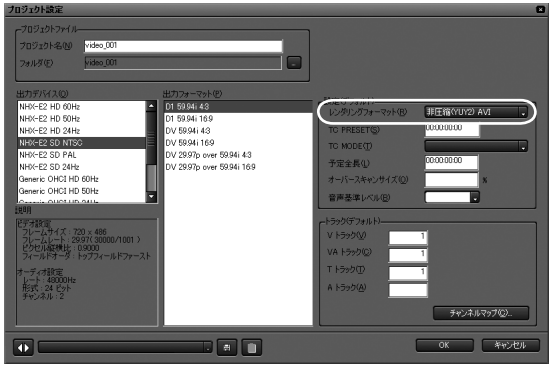
［説明］にはプリセットの内容が表示されます。

POINT エクスパンションボードを装着していない場合は、HD 関連のプリセットは表示されません。

POINT 本書に記載されていない EDIUS の操作および設定については、「EDIUS リファレンスマニュアル」を参照してください。

6 ［レンダリングフォーマット］を確認します。

出力フォーマットに適したコーデックが自動で選択されます。必要に応じて変更してください。

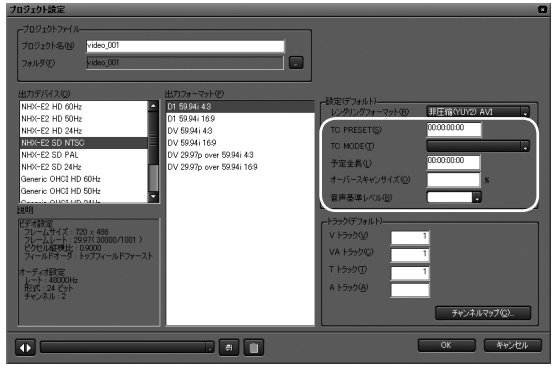


※ EDIUS ではレンダリングを行うときに、レンダリング用のテンポラリファイルを作成します。このテンポラリファイルを作成するためのビデオコーデックを［レンダリングフォーマット］で設定します。ビデオフォーマットに応じ、推奨のコーデックを選択すると、レンダリングが高速（リアルタイムを含め）に処理されます。

POINT ［プロジェクト設定］ダイアログの［レンダリングフォーマット］と、キャプチャ時のコーデックとの間に関係はありません。EDIUS のタイムライン上のレンダリング処理は、メモリ上でリアルタイムに非圧縮で展開されるものです。

POINT
- 推奨コーデックについては、「入出力フォーマット一覧」P118 を参照してください。
- HDV 編集については、「HDV 映像の運用」P44 を参照してください。
- コーデックの特徴については、「コーデックについて」P115 を参照してください。

7 ［TC PRESET］、［TC MODE］、［予定全長］、［オーバースキャンサイズ］、［音声基準レベル］を設定します。



TC PRESET	タイムライン先頭のタイムコードを設定します。
TC MODE	NTSC（29.97fps）系のタイムコードのドロップ／ノンドロップフレームを設定します。
予定全長	完成時の全長が決まっている場合に設定します。設定しておくと、予定全長を超えた部分のタイムラインの色を変え、注意をうながします。
オーバースキャンサイズ	オーバースキャン表示する場合に、比率を入力します。入力範囲は［0］から［20］です。オーバースキャン表示をしない場合は［0］を入力します。
音声基準レベル	［オーディオミキサー］ダイアログで、インジケーター表示を［音声基準スケール］に設定した場合の目盛り数値［0］に設定するサンプリング値を設定します。

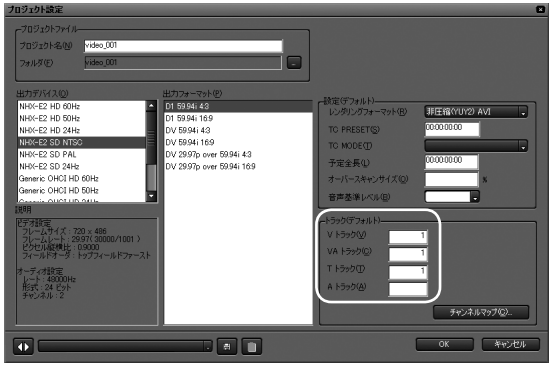
POINT **オーバースキャンサイズ**

ここで設定したオーバースキャン領域の外側は無効領域となり、トランジションエフェクトなどの適用範囲外になります。作成した映像データの全域を有効領域として使用する場合は、オーバースキャンサイズに［0］を入力します。

例えば、使用する映像クリップの画面端に無効領域（黒枠）がある場合、無効領域をオーバースキャン領域の外側へ表示させるように設定することで、無効領域をトランジションエフェクトなどから除外することが可能です。

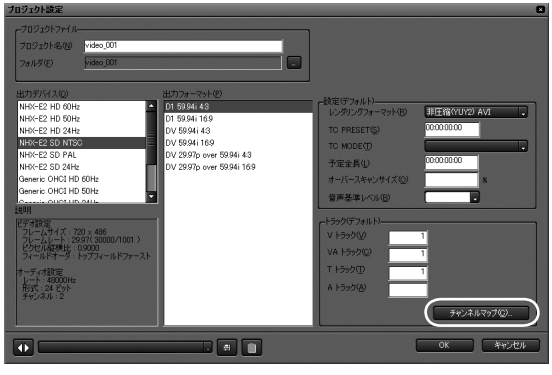
8 ［トラック］欄のビデオ、オーディオ、タイトルトラック数を設定します。

タイムライン上のトラック数を設定します。トラック数は、編集作業中に増減させることが可能です。



9 ［チャンネルマップ］ボタンをクリックし、オーディオタイムラインと出力される音声出力信号とのマッピングを設定します。

［オーディオチャンネルマップ］ダイアログで、オーディオチャンネルの出力とタイムラインの VA トラック、A トラックの出力先を設定します。

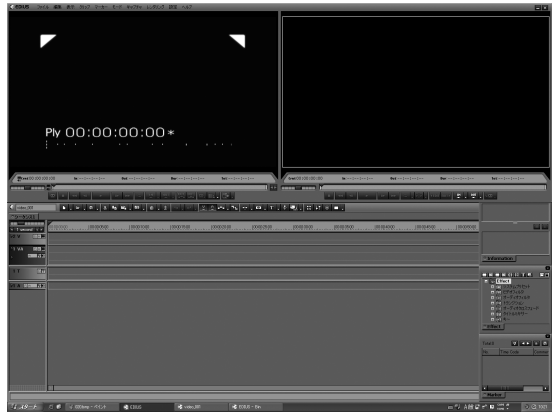


POINT 例えば［D1 59.94i 4:3］設定を選択した場合、プリセットされているオーディオチャンネルは 2ch になります。2ch の出力に対してオーディオ関係のタイムラインには、［プロジェクト設定］で指定した VA トラック、A トラック数分のオーディオトラックが存在していて、それぞれのオーディオ関係トラックには 2ch（L ／ R）が存在します。下の写真では VA トラック、A トラック 4 の計 5 トラックが設定されています。

この 10ch のオーディオ出力とプリセットに設定されている 2ch のオーディオ出力との関係を、次のように［オーディオチャンネルマップ］ダイアログで設定した場合、VA トラック、A トラックに配置されたオーディオ 2ch（L ／ R）はオーディオフォーマットの Ch1、Ch2 に出力されます。

10 設定が完了したら、［OK］ボタンをクリックします。

ダイアログが閉じ、EDIUS の編集画面が表示されます。



キャプチャ

※ ここでは、VELXUS 300 での設定方法を例に説明しています。VELXUS 500LE では、ボード名が［NHX-E1］と表示されます。設定項目の違いはありません。

ご注意 EDIUS を使用中にケーブルの抜き差し（IEEE1394 ケーブル、USB ケーブル）は行わないでください。

1 キャプチャを行う場合は、［キャプチャ］メニューから、入力デバイスを選択します。

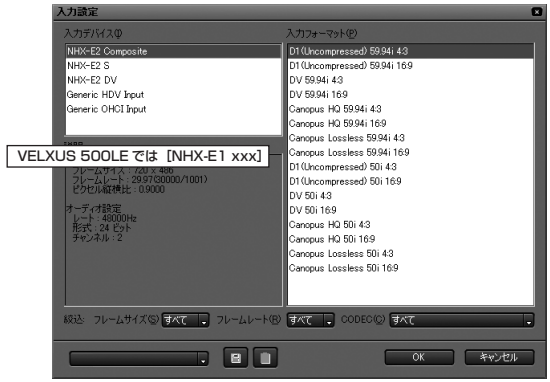
［キャプチャ］メニュー

［入力設定］を選択し、［入力設定］ダイアログで［入力デバイス］を選択することも可能です。

2 ［入力設定］ダイアログで、コーデックを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

POINT キャプチャ操作については「EDIUS リファレンスマニュアル」の「外部素材の取り込み」を参照してください。

コンポジット入力の場合は、［NHX-E2 Composite］（VELXUS 500LE をご使用の場合は、［NHX-E1 Composite］）を、S ビデオ入力の場合は、［NHX-E2 S］（VELXUS 500LE をご使用の場合は、［NHX-E1 S］）を選択します。［入力設定］ダイアログで、プリセットのコーデック（入力フォーマット）を選択します。



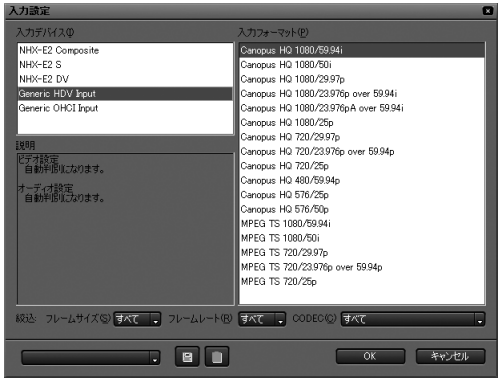
NHX-E1/E2 Composite の場合

NHX-E1/E2 S の場合

メインボードの IEEE1394 インターフェースを使用する場合は、［NHX-E2 DV］（VELXUS 500LE の場合は［NHX-E1 DV］）を選択します。

NHX-E1/E2 DV の場合

HDV 形式をキャプチャする場合は、[Generic HDV input] を選択します。



Generic HDV Input の場合

POINT DV 編集については、「HDV 映像の運用」P44 を参照してください。

汎用 OHCI（IEEE1394）を使用する場合は、[Generic OHCI Input] を選択します。

Generic OHCI Input の場合

VELXUS Bay（オプション）からキャプチャする場合

※ ここでは、VELXUS 300 での設定方法を例に説明しています。VELXUS 500LE では、ボード名が［NHX-E1］と表示されます。設定項目の違いはありません。

1 ［キャプチャ］メニューから入力デバイスを選択します。

コンポジット入力の場合は、［NHX-E2-Bay Composite］（VELXUS 500LE の場合は［NHX-E1-Bay Composite］）を、S ビデオ入力の場合は、［NHX-E2-Bay S］（VELXUS 500LE の場合は［NHX-E1-Bay S］）を選択します。

［キャプチャ］メニュー

［入力設定］ダイアログが表示されます。

2 プリセットを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

入力に対応する VELXUS Bay のインジケータが点灯します。

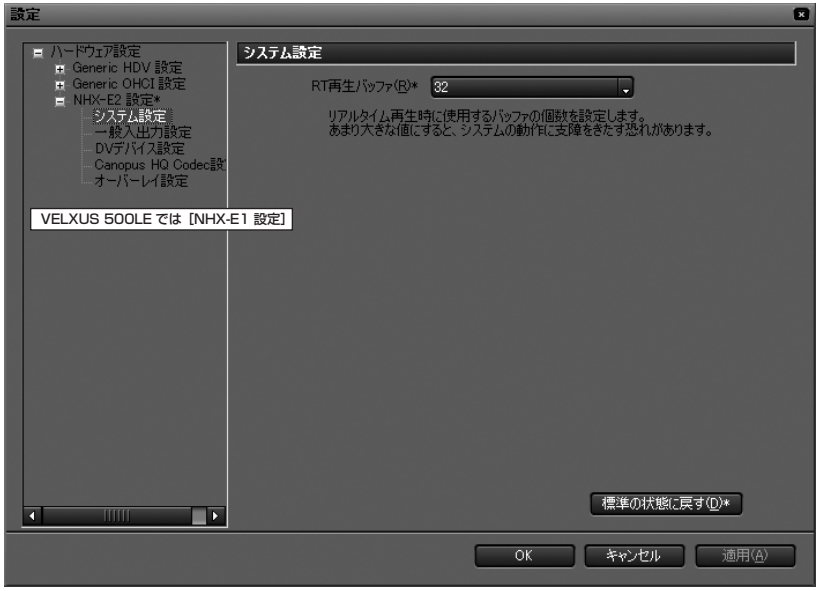
POINT VELXUS Bay のインジケータについては、「VELXUS Bay（NHX-B10）フロントパネル（オプション）」P19 を参照してください。

ハードウェア設定（NHX-E1/E2 設定）

［設定］メニューから［ハードウェア設定］を選択すると、［設定］ダイアログが表示されます。

※ ここでは、VELXUS 300 でのダイアログを例に説明しています。VELXUS 500LE では、［NHX-E1 設定］と表示されます。設定項目の違いはありません。

システム設定



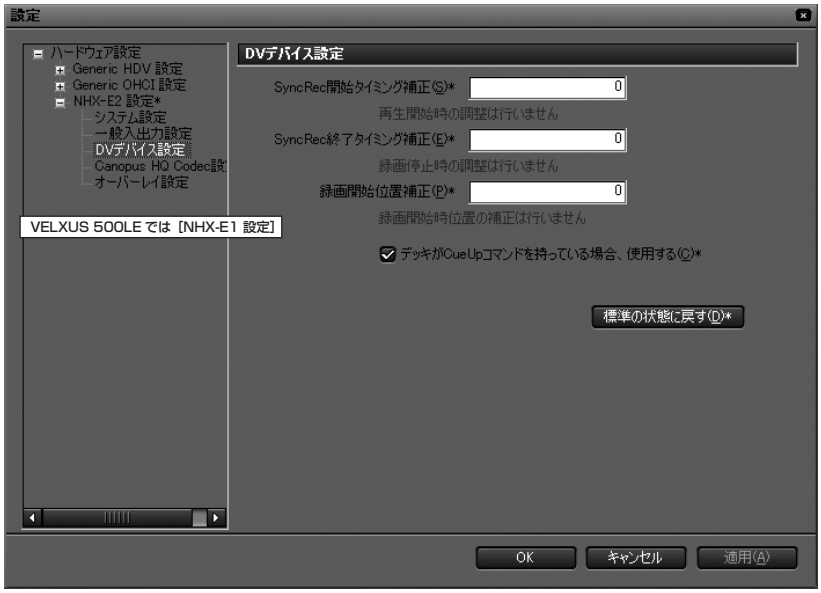
RT 再生バッファ	リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数（32、48、64、96）を設定します。フレーム数を大きくするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

一般入出力設定

出力設定

モニタフォーマット	モニタに関する設定です。SD ／ HD の切り替えを自動認識するモニタの場合は、［マルチフォーマット］を、SD ／ HD 端子が別々になっているモニタの場合は、［HD］または［SD］を設定します。
出力がここでの指定と食い違っている場合、出力をミュートする。	上記設定とタイムラインのビデオフォーマット設定が異なる場合に、信号を出力しない設定にします。
セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。
コンポーネント出力レベル	コンポーネントレベルを選択します。
Wide Screen Signaling を有効にする	Wide Screen Signal（WSS：アスペクト比を切り替えるための信号）に対応したテレビの場合は、自動でアスペクト比（4：3、または 16：9）が切り替わります。WSS が不要な場合は、チェックを外してください。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

DV デバイス設定



SyncRec 開始タイミング補正	コンピュータ側の再生開始のタイミング補正をフレーム数で設定します。
SyncRec 終了タイミング補正	VTR 側の録画停止のタイミング補正をフレーム数で設定します。
録画開始位置補正	録画開始の位置補正をステップ数で設定します。
デッキが CueUp コマンドを持っている場合、使用する	チェックを入れるとデッキの CueUp 機能を使用します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

入力設定

※［キャプチャ］メニューで［NHX-E2-Composite］（VELXUS 500LE の場合は、［NHX-E1-Composite］）、［NHX-E2-S］（VELXUS 500LE の場合は、［NHX-E1-S］）を選択している場合に表示されます。

明るさ	映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。
色相	映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。
彩度	色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。
シャープネス	映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。
詳細画質調整	［詳細画質調整］ダイアログを表示します。
セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。
コンポーネントレベル	NHX-E1/E2 では使用できません。

ゲインコントロール	映像輝度を設定します。マニュアルは輝度を手動で設定します。オートの場合は、自動で輝度を最適に調整します。
オーディオマッピング	NHX-E1/E2 では使用できません。
コントロールマッピング	NHX-E1/E2 では使用できません。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

［詳細画質調整］ダイアログ

◇［3次元 / 2次元映像処理］タブ

3 次元処理	3 次元ノイズリダクション、および 3 次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。
2 次元処理	非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3 次元処理とは別に設定することが可能です。
輝度成分ノイズ除去	輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。
色成分ノイズ除去	色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

◇［白 / 黒ゲイン］タブ

黒ゲイン自動調整	輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。
適応レベル	黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。
しきい値	どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。
白ゲイン自動調整	輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。
適応レベル	白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。
しきい値	どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

◇［輪郭強調］タブ

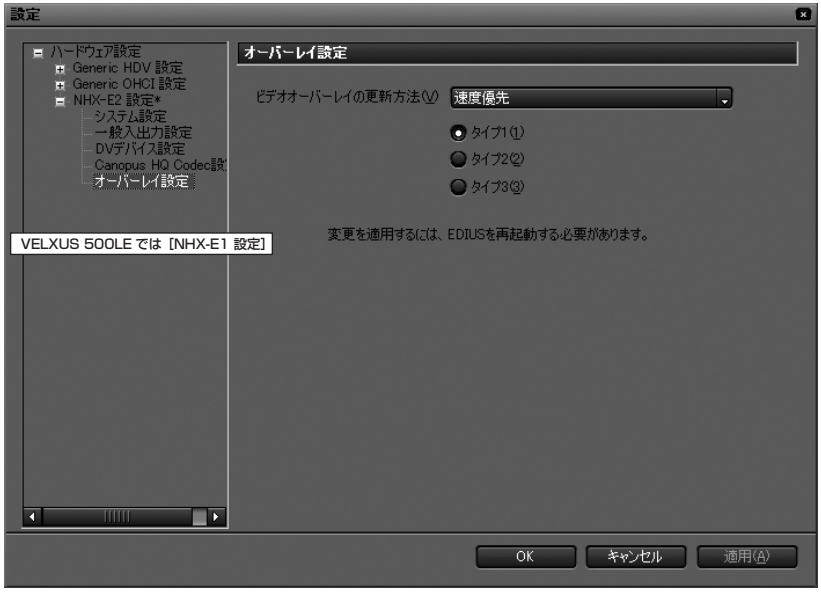
輪郭強調（水平）	水平方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
輪郭強調（垂直）	垂直方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

Canopus HQ Codec 設定

Canopus HQ Codec 設定

オンライン（SuperFine）	選択できません。
オンライン（Fine）	最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。
オンライン（標準）	通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。
オフライン	選択できません。
カスタム	チェックを入れると、［Q］、［Max size］を調節することができます。
Q	画質を調節します。4 から 19 の間で設定し、少ないほど高画質になります。
Max size	最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができます。設定値［100］%は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。例えば、1440 × 1080 60i で、100%は約 750 Mbps です。この上限を 200 Mbps に制限する場合は［27］%に設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

オーバーレイ設定



ビデオオーバーレイの更新方法	オーバーレイの表示が正しく行われない場合に、オーバーレイの表示方法を変更します。
速度優先	システムの負荷が最も低くなります。PC モニタとのタイミングを合わせることが物理的に不可能なため、ティアリングが発生します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。［タイプ 3］で正常に表示されない場合は、［タイプ 2］、［タイプ 1］の順にお試しください。［タイプ 3］が最も高速な表示になります。
ティアリング / コーミングなし	インターレース映像を、プログレッシブ化して表示します。PC モニタ上でも、フィールド動作を行っています。細かな動きのチェックなどに使用します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。
ティアリングなし	［ティアリング / コーミングなし］よりもシステムの負荷が低くなります。1 フレームごとに画面の更新を行います。

バスの負荷を低減させる	［ティアリングなし］、［ティアリング / コーミングなし］の場合、［バスの負荷を低減させる］チェックボックスが表示されます。バスビジーが発生する場合に［バスの負荷を低減させる］にチェックを入れると、CPU 負荷は上がりますが改善する場合があります。 ※ティアリングの回避は、グラフィックドライバの機能で行います。 ※［ティアリング / コーミングなし］を選択した場合、PC モニタのリフレッシュレートによっては、なめらかに表示されない場合があります。PC モニタは、ビデオのフレームレートの整数倍に近いリフレッシュレートで使用することを推奨します。

Chapter 3

Premiere Pro Plug-in

1 プラグイン使用の制限事項

Premiere Pro でプラグインの機能をお使いいただく場合、以下の制限事項があります。プラグインをご使用になる場合には、必ずご確認ください。

再生時の制限

- Premiere Pro 用 Plug-in モジュールでは、Capture/VideoOut 機能を提供するものです。再生時の処理速度は Premiere Pro 自体の処理速度および環境に依存します。
- プロジェクト起動後、画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 5.1ch オーディオの再生はできません。

HQ ファイルについての制限

- タイムコードの打ち替えはできません。
- プロジェクトマネージャでファイルのトリミングはできません。
- コンソリデートは使用できません。

書き出し時の制限

- HD プリセットで、ファイル書き出しを行う場合に設定ダイアログを開くと PixelAspect が正しく設定されません。
- 設定ダイアログを開いてしまった場合は、［キャンセル］ボタンをクリックし、ダイアログを閉じてください。
- 5.1ch オーディオのファイル出力はできません。
- テープ書き出しを行う場合は、キャプチャウィンドウを閉じてから行うようにしてください。キャプチャウィンドウが表示されている時は、テープ書き出しを行うことができません（メッセージを表示します）。

キャプチャ時の制限

- 他のデバイスコントローラ、レコーダを当社製モジュールと併用する場合の動作保証はしていません。
- キャプチャを開始し、その後からストリームを流し込む途中キャプチャ機能はサポートしていません。
- デバイスコントローラのセットアップダイアログで、適切な入力用の設定ダイアログを出すには、Premiere Pro 起動後にレコーダのオプションで取り込む入力プリセットを選択した後に行ってください。行わない場合、正しい設定ダイアログが表示されません。

リアルタイム動作について

- クリップを一本化（レンダリング）すればリアルタイム動作が可能です。リアルタイムで動作しない部分は Premiere Pro の仕様です。

2 Premiere Pro の準備

Premiere Pro の初期設定

プラグインをご使用いただくための準備を行います。

※ ここでは、VELXUS 300 での設定方法を例に説明しています。VELXUS 500LE では、ボード名が［NHX-E1］と表示されます。設定項目の違いはありません。

1 Premiere Pro を起動し、［新規プロジェクト］をクリックします。

※ Premiere Pro の起動については、Premiere Pro 付属の取扱説明書をご確認ください。

［新規プロジェクト］ダイアログが表示されます。

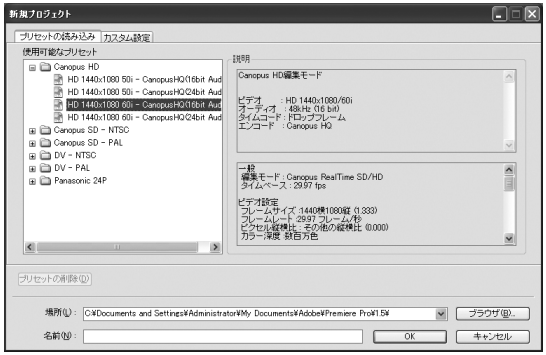
POINT Premiere Pro のスクラッチディスク設定（編集メニュー→環境設定選択し、表示される環境設定画面からスクラッチディスク選択）を確認してください。次に、物理的に独立しているハードディスクのドライブを各設定のシステムドライブから指定してください。2 個のハードディスクドライブに少なくとも 4 つのパーティションを準備することを推奨します。

4 つのパーティションは、1 番目は OS 用、2 番目はキャプチャしたビデオとオーディオ用、3 番目はビデオプレビュー / オーディオプレビュー用、4 番目は最適化したオーディオ用に使用します。

例：

- ディスク 1：Windows/Premiere Pro をインストール
- ディスク 2 / 区分 1：キャプチャしたビデオとオーディオ
- ディスク 2 / 区分 2：ビデオプレビュー / オーディオプレビュー
- ディスク 2 / 区分 3：最適化したオーディオ

2 プリセット、プロジェクト名を設定します。



プリセットを次の中から選択します。

[Canopus HD]

- HD 1440x1080 50i - Canopus HQ（16bit Audio）
  - Canopus HQ（24bit Audio）
- HD 1440x1080 60i - Canopus HQ（16bit Audio）
  - Canopus HQ（24bit Audio）

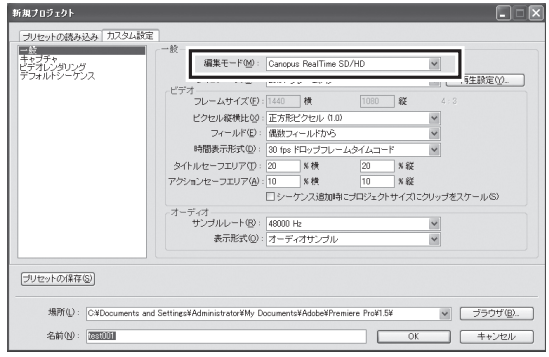
[Canopus SD - NTSC]

- DV NTSC Standard - Canopus HQ
- DV NTSC Standard - MSDV
- DV NTSC Widescreen - Canopus HQ
- DV NTSC Widescreen - MSDV

[Canopus SD - PAL]

- DV PAL Standard - Canopus HQ
- DV PAL Standard - MSDV
- DV PAL Widescreen - Canopus HQ
- DV PAL Widescreen - MSDV

3 ［カスタム設定］タブをクリックします。［編集モード］に［Canopus RealTime SD/HD］が選択されていることを確認します。



POINT HD を選択している場合は、［カスタム設定］タブの設定を使用できません。

4 ［再生設定］をクリックします。

HD/SD のとき［Plug-in の設定］ダイアログが表示されます。

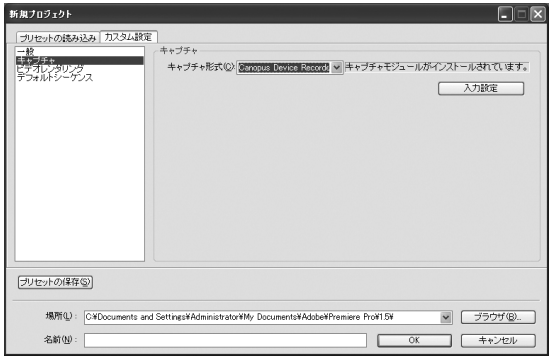
5 設定項目にチェックを入れ、［OK］ボタンをクリックします。

ポーズ時のフィールド	再生を停止した際、出力されるフィールドを設定します。
再生バッファ	再生が間に合わずコマ飛びする場合にフレーム数を増やすと状況が改善される場合があります。 ※最小値は 6 で最大値が 20 となります。通常は変更する必要はありません。

プラグインがレンダリングを必要と判断した場合、警告ダイアログを表示する	レンダリングが必要な場合、ダイアログを表示します。 ※ダイアログが表示されなかった場合に、リアルタイム再生を保証するものではありません。タイムライン上にレンダリングしなければならないクリップが増えた時に警告するダイアログです。

POINT ハードウェア設定については、「設定ダイアログ」P86 を参照してください。

6 左のボックスから［キャプチャ］を選択し、［キャプチャ形式］に［Canopus Device Recorder］が選択されていることを確認します。



7 ［入力設定］ボタンをクリックします。

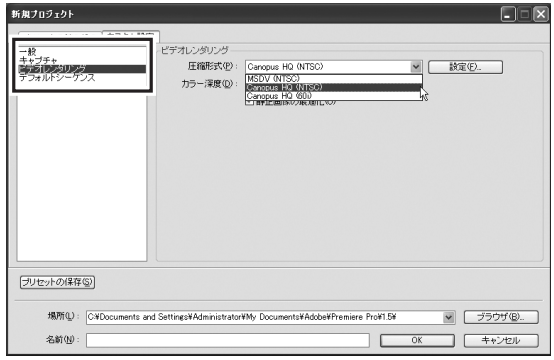
［入力設定］ダイアログが表示されます。

8 項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

VELXUS 500LE では［NHX-E1-xxx］

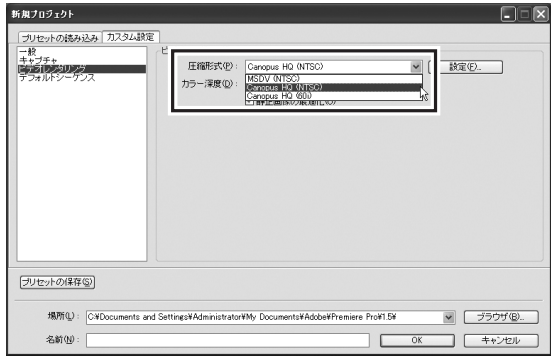
プリセット	プリセットを選択します。アスペクト比等から選択します。
シーン分割の条件	キャプチャ時に AVI ファイルが自動的にシーン分割される条件を選択します。 シーン分割の条件は以下のとおりです。 • オーディオサンプリングレートの変化 • レコードタイムデータの変化 • タイムコードブレーク時 • アスペクト比の変化

9 左のボックスから［ビデオレンダリング］を選択します。

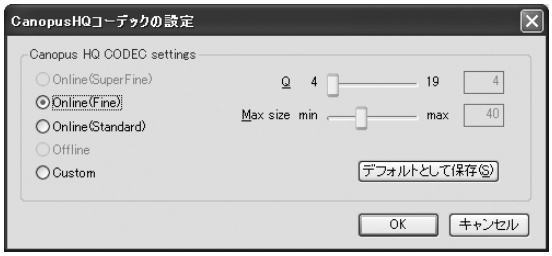


［圧縮形式］を選択します。

- NTSC SD 選択時：［Canopus HQ（NTSC）］、または［MSDV（NTSC）］
- PAL SD 選択時：［Canopus HQ（PAL）］、または［MSDV（PAL）］



10 **［設定］ボタンをクリックすると［CanopusHQ コーデックの設定］ダイアログが開きます。設定を行い、［OK］ボタンをクリックします。**

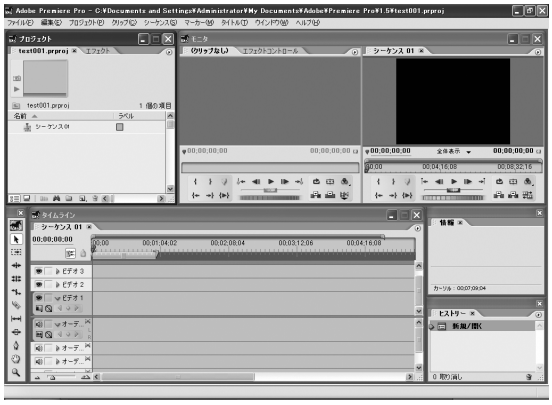


POINT Canopus HQ コーデックについては、「Canopus HQ Codec 設定」P93 を参照してください。

POINT HD を選択している場合は、［カスタム設定］タブの設定を使用できません。
HD で［Canopus HQ Codec］の設定を行う場合は、一度プロジェクトを作成します。次に［プロジェクト］メニューから［プロジェクト設定］に進み、［ビデオレンダリング］の［設定］を選択し、設定を行います。

11 **プロジェクト名を入力し、［OK］ボタンをクリックします。**

Premiere Pro のメインウィンドウが表示されます。

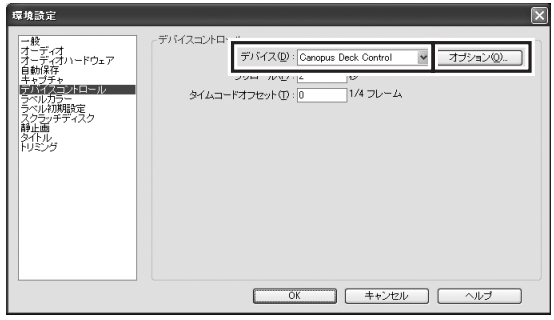


デバイスの設定

1 **［編集］メニューの［環境設定］から［デバイスコントロール］を選択します。**

［環境設定］ダイアログが表示されます。

2 **［デバイス］に［Canopus Deck Control］が選択されていることを確認し、［オプション］ボタンをクリックします。**



［設定］ダイアログが表示されます。

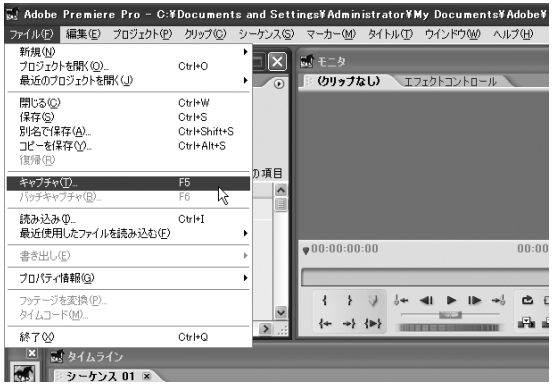
POINT ハードウェア設定については、「設定ダイアログ」P86 を参照してください。

3 **設定を有効にするには、［OK］ボタンをクリックします。**

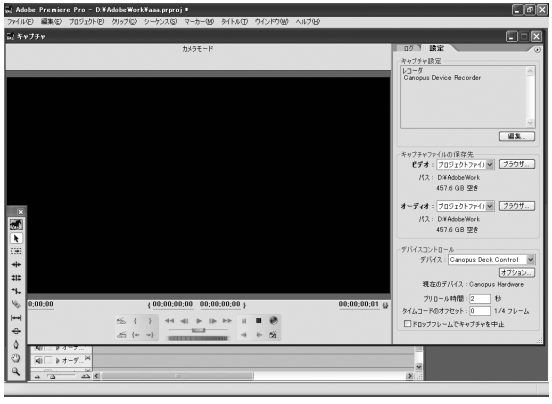
キャプチャ

※ ここでは、VELXUS 300 での設定方法を例に説明しています。VELXUS 500LE では、ボード名が［NHX-E1］と表示されます。設定項目の違いはありません。

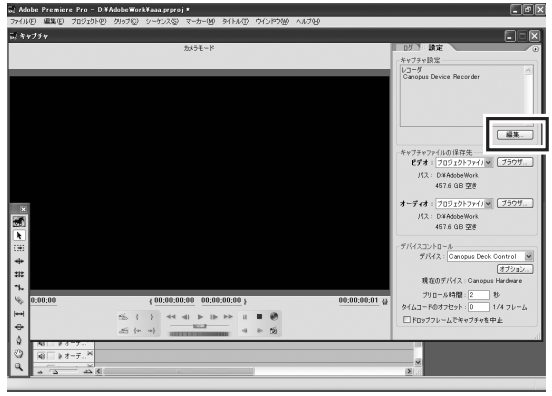
1 ［ファイル］メニューから［キャプチャ］を選択します。



［キャプチャ］ウィンドウが開きます。

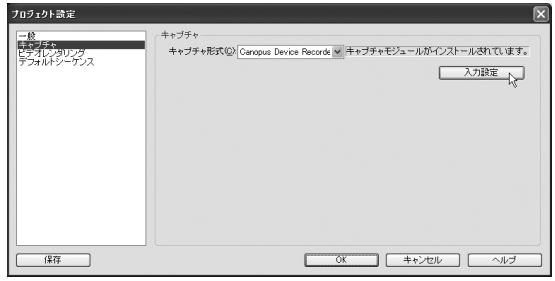


2 **［設定］タブの［編集］ボタンをクリックし、入力先を決定します。**

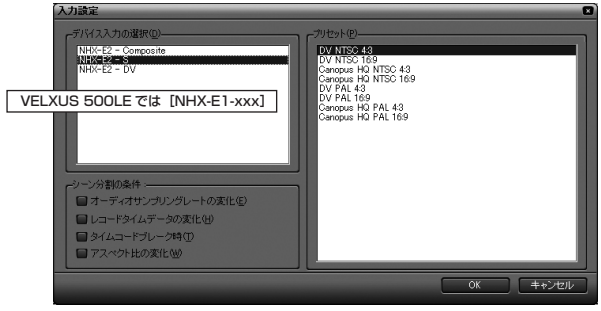


［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。

3 **左側のメニューから［キャプチャ］を選択し、［入力設定］ボタンをクリックします。**



［入力設定］ダイアログが表示されます。



VELXUS 500LE では［NHX-E1-xxx］

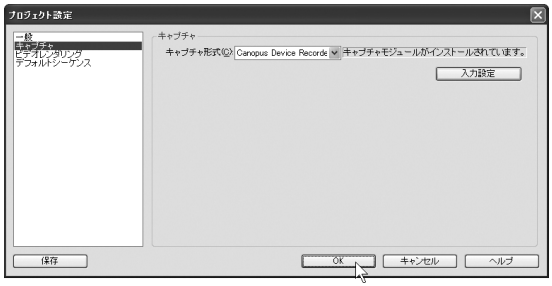
※ 表示される内容はお使いの環境により異なります。

4 デバイス入力先、およびプリセットを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

VELXUS 500LE では [NHX-E1-xxx]

ダイアログが閉じます。

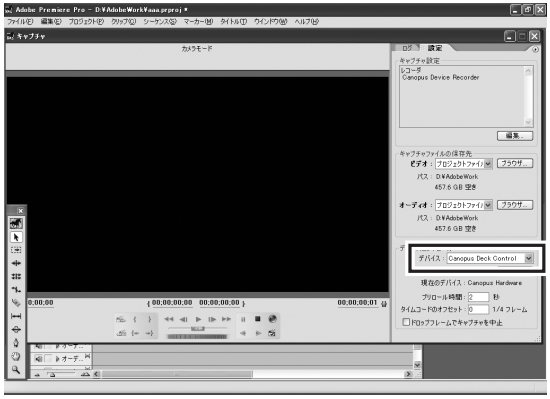
5 [OK] ボタンをクリックします。



ダイアログが閉じます。

6 デバイスコントロールのデバイス名が [Canopus Deck Control] になっていることを確認します。

異なるデバイス名が表示されている場合は、ドロップダウンリストから選択します。



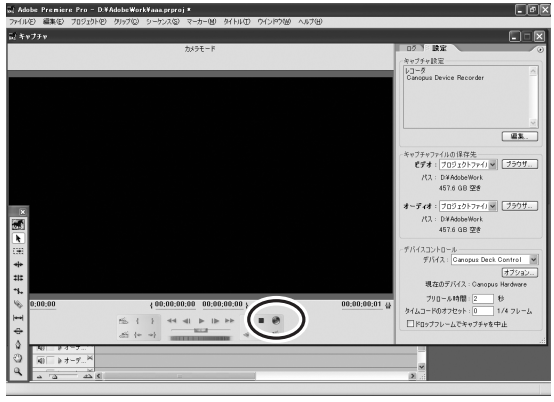
POINT **オプション設定**

デッキの設定を行う場合は、［オプション］ボタンをクリックします。［設定］ダイアログが表示されます。

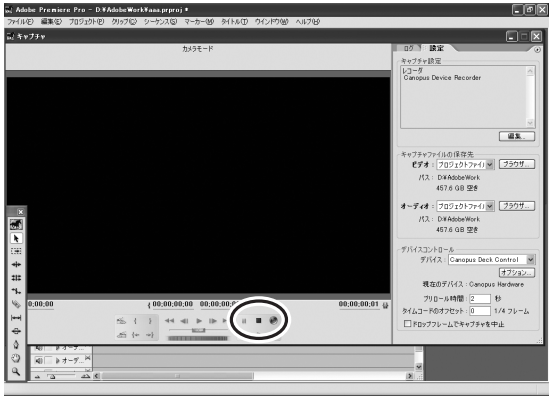
設定後、［OK］ボタンをクリックすると［設定］ダイアログは閉じます。ハードウェア設定については、「設定ダイアログ」P86 を参照してください。

7 ［録画］ボタンをクリックします。

キャプチャを開始します。



8 ［停止］ボタンをクリックし、キャプチャを終了します。



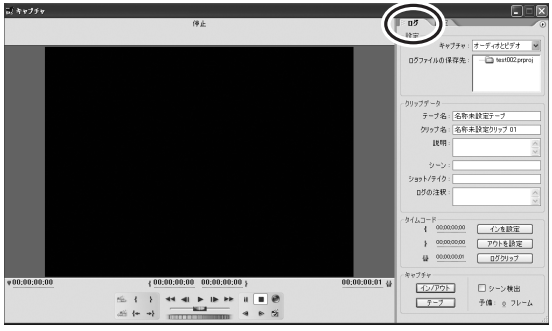
バッチキャプチャを行う場合

※ デッキコントロール不能なアナログデバイスを除きます。

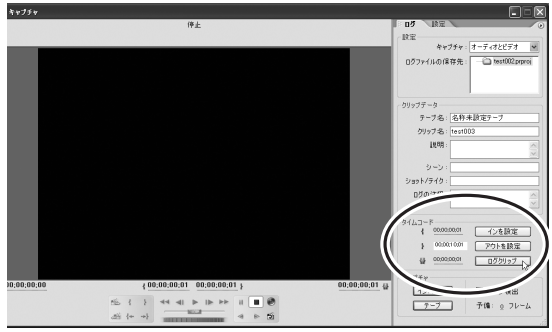
1 「キャプチャ」の手順 1から4を行います。

POINT キャプチャについては、「キャプチャ」P77 を参照してください。

2 ［キャプチャ］ダイアログで、［ログ］タブを選択します。



3 タイムコード（In/Out）を設定し、[ログクリップ] ボタンをクリックします。

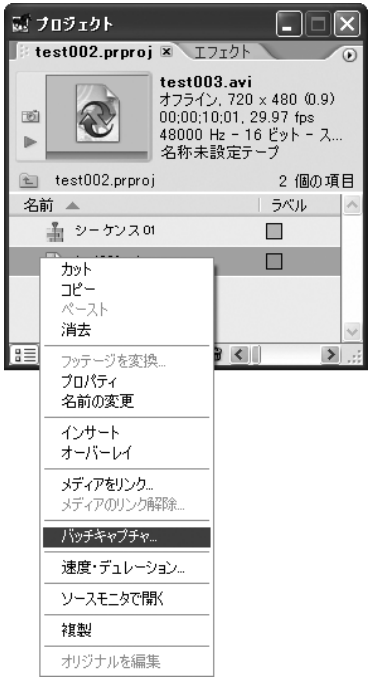


[ログクリップ] ダイアログが表示されます。

4 ファイル名、説明等を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

プロジェクトにリストが表示されます。

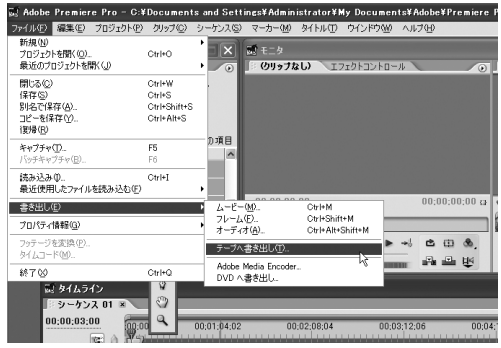
5 リストの右クリックメニューから［バッチキャプチャ］を選択します。



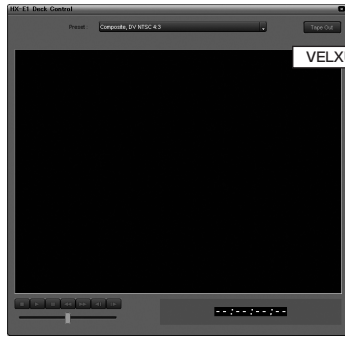
テープへ書き出し

※ ここでは、VELXUS 300 での設定方法を例に説明しています。VELXUS 500LE では、ボード名が［HX-E1］と表示されます。設定項目の違いはありません。

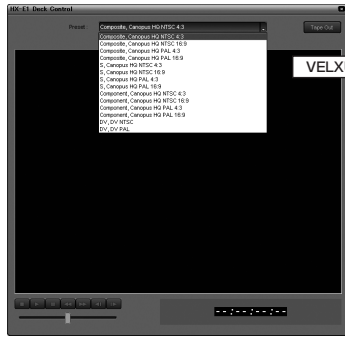
1 ［ファイル］メニューから［書き出し］へ進み、［テープへ書き出し］を選択します。



［HX-E2 Deck Control］ダイアログが開きます。



2 Preset を選択します。



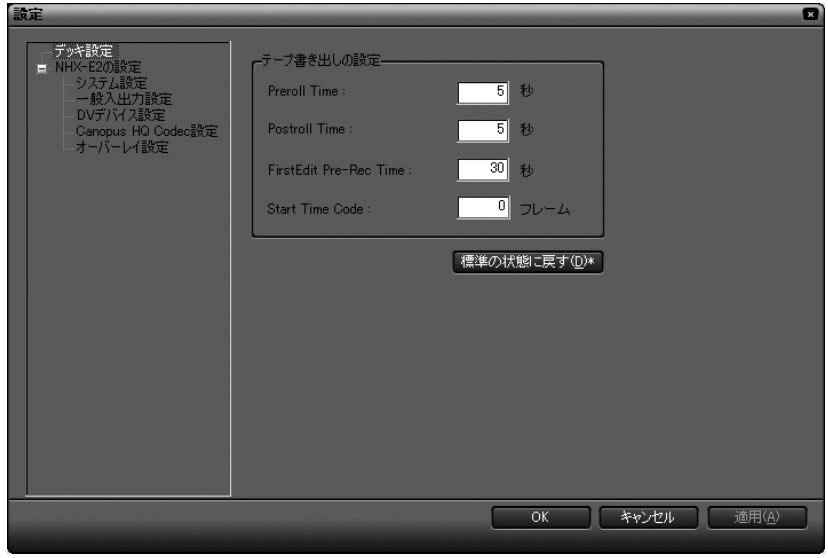
3 ［Tape Out］ボタンをクリックします。

書き出しを開始します。

設定ダイアログ

※ ここでは、VELXUS 300 でのダイアログを例に説明しています。VELXUS 500LE では、［NHX-E1 の設定］と表示されます。設定項目の違いはありません。

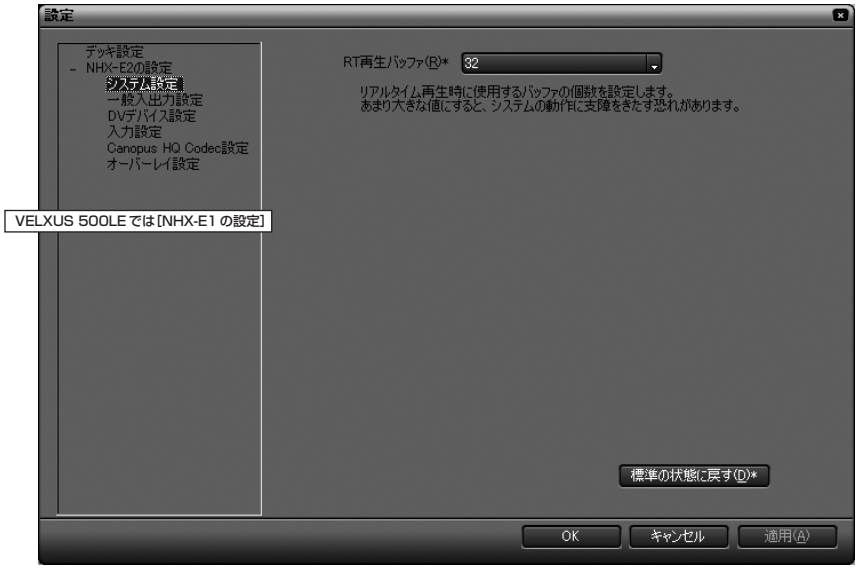
デッキ設定



テープ書き出しの設定

Preroll Time	キャプチャ前のデッキの予備動作時間を設定します。
Postroll Time	キャプチャ後のデッキの予備動作時間を設定します。
FirstEdit Pre-Rec Time	FirstEdit 時の、下書き（のりしろ）の長さを設定します。
Start Time Code	テープの書き込み位置を設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

システム設定



VELXUS 500LE では [NHX-E1 の設定]

RT 再生バッファ	リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数（32、48、64、96）を設定します。フレーム数を大きくするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

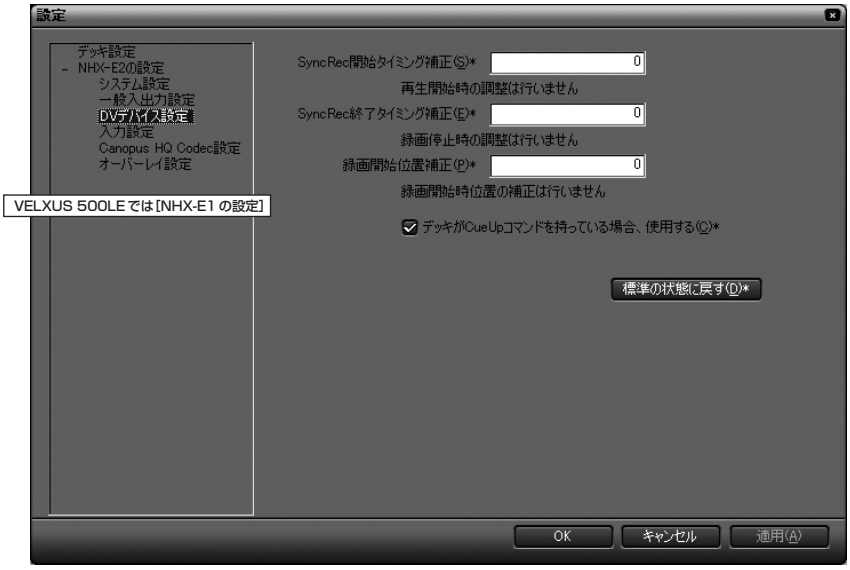
一般入出力設定

VELXUS 500LEでは[NHX-E1 の設定]

出力設定

モニタフォーマット	モニタに関する設定です。SD/HD の切り替えを自動認識するモニタの場合は、［マルチフォーマット］を、SD/HD 端子が別々になっているモニタの場合は、［HD］または［SD］を設定します。
出力がここでの指定と食い違っている場合、出力をミュートする。	上記設定とタイムラインのビデオフォーマット設定が異なる場合に、信号を出力しない設定にします。
セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。
コンポーネント出力レベル	コンポーネントレベルを選択します。
Wide Screen Signaling を有効にする	Wide Screen Signal（WSS：アスペクト比を切り替えるための信号）に対応したテレビの場合は、自動でアスペクト比（4：3、または 16：9）が切り替わります。WSS が不要な場合は、チェックを外してください。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

DV デバイス設定



SyncRec 開始タイミング補正	コンピュータ側の再生開始のタイミング補正をフレーム数で設定します。
SyncRec 終了タイミング補正	デッキ側の録画停止のタイミング補正をフレーム数で設定します。
録画開始位置補正	録画開始の位置補正をステップ数で設定します。
デッキが CueUp コマンドを持っている場合、使用する	チェックを入れるとデッキの CueUp 機能を使用します。
標準の状態に戻す	*のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

入力設定

明るさ	映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。
色相	映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。
彩度	色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。
シャープネス	映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。
詳細画質調整	［詳細画質調整］ダイアログを表示します。
セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。
コンポーネントレベル	NHX-E1/E2 では使用できません。
ゲインコントロール	映像輝度を設定します。マニュアルは輝度を手動で設定します。オートの場合は、自動で輝度を最適に調整します。
オーディオマッピング	NHX-E1/E2 では使用できません。
コントロールマッピング	NHX-E1/E2 では使用できません。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

[詳細画質調整] ダイアログ

◇ [3次元 / 2次元映像処理] タブ

3 次元処理	3 次元ノイズリダクション、および 3 次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。
2 次元処理	非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3 次元処理とは別に設定することが可能です。
輝度成分ノイズ除去	輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。
色成分ノイズ除去	色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。
標準の状態に戻す	*のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

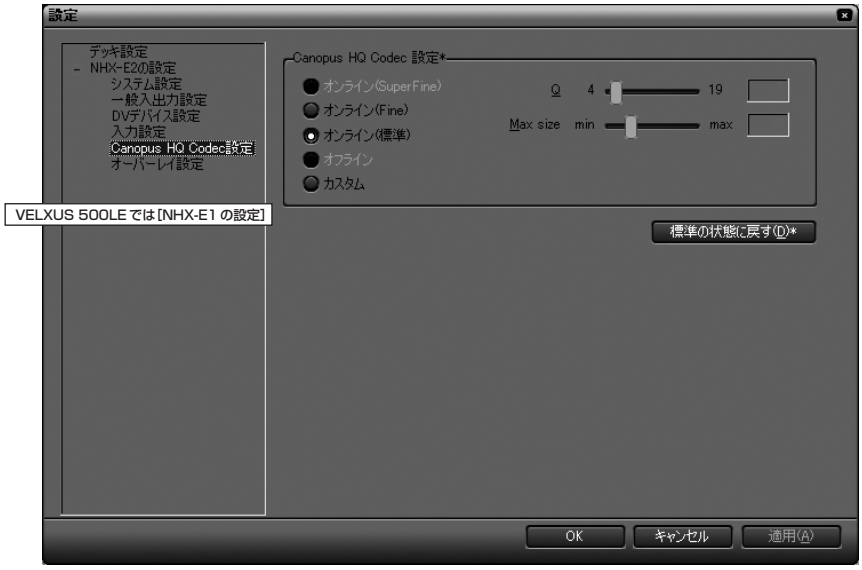
◇ [白 / 黒ゲイン] タブ

黒ゲイン自動調整	輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。
適応レベル	黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。
しきい値	どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。
白ゲイン自動調整	輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。
適応レベル	白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。
しきい値	どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

◇［輪郭強調］タブ

輪郭強調（水平）	水平方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
輪郭強調（垂直）	垂直方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

Canopus HQ Codec 設定

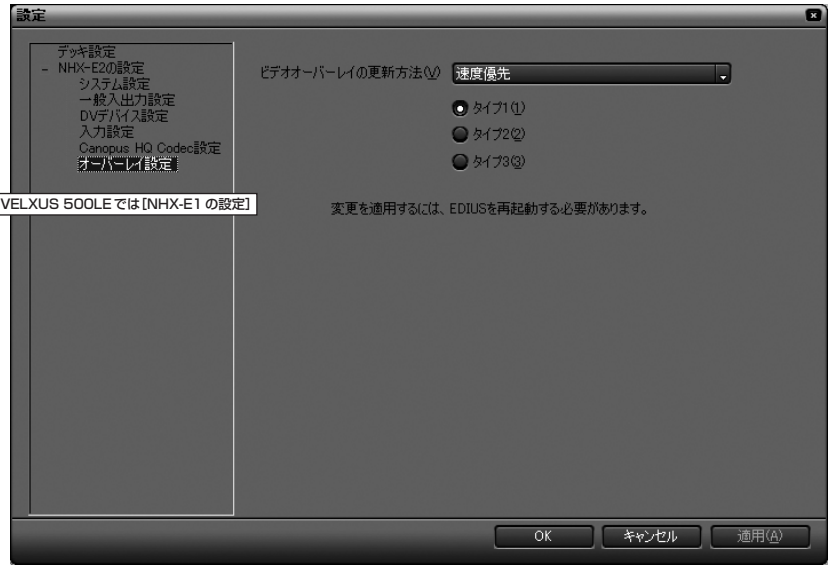


VELXUS 500LE では [NHX-E1 の設定]

Canopus HQ Codec 設定

オンライン（SuperFine）	選択できません。
オンライン（Fine）	最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。
オンライン（標準）	通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。
オフライン	選択できません。
カスタム	チェックを入れると、［Q］、［Max size］を調節することができます。
Q	画質を調節します。4 から 30 の間で設定し、少ないほど高画質になります。
Max size	最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができます。設定値［100］%は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。 たとえば、1440 × 1080 60i で、100%は約 750 Mbps です。この上限を 200 Mbps に制限する場合は［27］%に設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

オーバーレイ設定



ビデオオーバーレイの更新方法	オーバーレイの表示が正しく行われない場合に、オーバーレイの表示方法を変更します。
速度優先	システムの負荷が最も低くなります。PC モニタとのタイミングを合わせることが物理的に不可能なため、ティアリングが発生します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。［タイプ 3］で正常に表示されない場合は、［タイプ 2］、［タイプ 1］の順にお試しください。［タイプ 3］が最も高速な表示になります。
ティアリング / コーミングなし	インターレース映像を、プログレッシブ化して表示します。PC モニタ上でも、フィールド動作を行っています。細かな動きのチェックなどに使用します。1 フィールドごとに画面の更新を行います。
ティアリングなし	［ティアリング / コーミングなし］よりもシステムの負荷が低くなります。1 フレームごとに画面の更新を行います。

バスの負荷を低減させる	［ティアリングなし］、［ティアリング / コーミングなし］の場合、［バスの負荷を低減させる］チェックボックスが表示されます。バスビジーが発生する場合に［バスの負荷を低減させる］にチェックを入れると、CPU 負荷は上がりますが改善する場合があります。 ※ティアリングの回避は、グラフィックドライバの機能で行います。 ※［ティアリング / コーミングなし］を選択した場合、PC モニタのリフレッシュレートによっては、なめらかに表示されない場合があります。PC モニタは、ビデオのフレームレートの整数倍に近いリフレッシュレートで使用することを推奨します。

Chapter 4

Video-Out プラグイン

1 Video-Out プラグインの設定

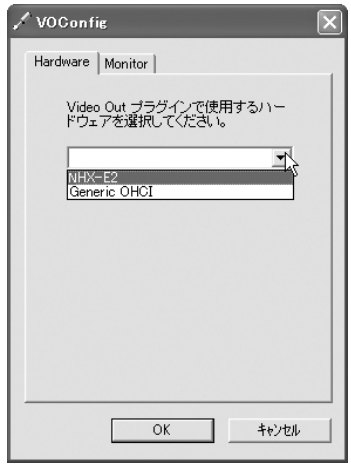
使用前の前準備

Video-Out プラグインを使用する前に、以下の設定を行います。

1 ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］から、[Canopus] → [Video Out Plugins] → [Video Out Plugin Config] を選択します。

［VOConfig］ダイアログが表示されます。

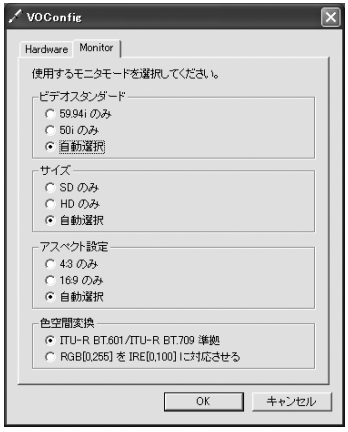
2 [Hardware] タブで [NHX-E2]（VELXUS 500LE の場合は [NHX-E1]）を選択します。



3 ［Monitor］タブを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

ハードウェアが出力できるフォーマットの中から、出力しようする画像サイズに最も適合するフォーマットでビデオ出力します。ビデオスタンダード、サイズ、アスペクト設定を限定することで、出力されるフォーマットを絞り込むことができます。

お使いの Video Monitor がサポートしている入力フォーマットに合わせて設定してください。たとえば、NTSC のみサポートしている場合には、［59.94i のみ］を選択します。



POINT Video-Out プラグインの映像出力は、SD の場合、HD の場合で異なります。

- SD の場合
  コンポーネント、S ビデオ、コンポジットに出力されます。
- HD の場合
  コンポーネントに出力されます。

2 After Effects Video-Out プラグイン

After Effects Video-Out プラグインの使用

After Effects のコンポジションウィンドウに表示されている映像を、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力インターフェースからビデオモニタに出力し、確認しながら作業が行えます。

制限事項について

- 設定ダイアログで設定を変更しても、変更はすぐに反映されません。コンポジションウィンドウ内をクリックする、あるいはタイムレイアウトウィンドウでスクラブするといった操作を行うと設定変更が反映されます。
- RAM プレビュー時に再生がスムーズにならない場合は、メニューの［編集］→［環境設定］→［キャッシュ］で開くダイアログから［イメージキャッシュサイズ］の値を小さくしてください。
- 伸縮・クロップはサポートされません。
- 最大表示にしている場合、RAM プレビューでリアルタイムにならない場合があります。

POINT

- コンポジション設定は、お使いのビデオスタンダードにあわせて、以下のプリセットをお使いください。

[HD]
プリセット：HDTV、1280x720
ピクセル縦横比：正方形ピクセル
フレームレート：29.97 フレーム／秒
プリセット：カスタム※
幅：1920
高さ：1080
ピクセル縦横比：正方形ピクセル
フレームレート：29.97 フレーム／秒
※プリセットは使用状況に合わせて設定してください。

[SD]
プリセット：NTSC D1、720x480 もしくは NTSC DV、720x480
ピクセル縦横比： D1/DV NTSC (0.9)
フレームレート： 29.97 フレーム／秒
プリセット： PAL D1/DV、720x576
ピクセル縦横比： D1/DV PAL (1.07)
フレームレート： 25 フレーム／秒

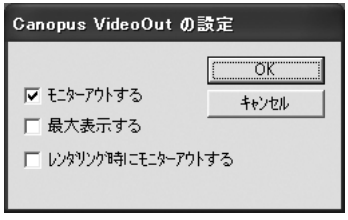
POINT • レンダーキューの出力モジュールは以下の設定を推奨します。
［HD］出力モジュール : カスタム
形式 :Video For Windows
形式オプション :Canopus HQ
オーディオ出力 : 48.000 kHz 16 ビットステレオ
［SD］出力モジュール : カスタム
形式 : Video For Windows
形式オプション : Canopus DV
オーディオ出力 : 48.000 kHz 16 ビットステレオ

1 After Effects を起動し、メニューから［編集］を選択します。

※ あらかじめ、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

2 ［編集］メニューの［環境設定］から［Canopus VideoOut］を選択します。

3 ［Canopus VideoOut の設定］ダイアログを設定します。



モニターアウトする	チェックを入れるとコンポジションウィンドウをモニタ出力します。
最大表示する	チェックを入れるとコンポジションウィンドウを画面いっぱいに拡大して表示します。
レンダリング時にモニターアウトする	レンダリング中の映像をモニタ出力します。

3 Photoshop Video-Out プラグイン

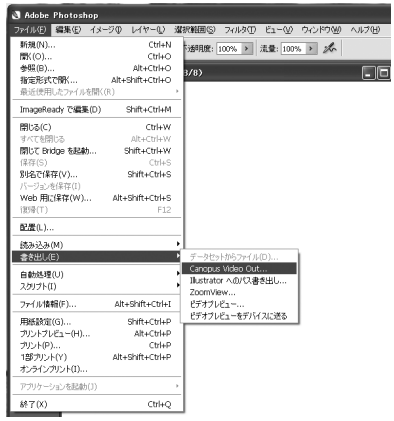
Photoshop Video-Out プラグインの使用

Photoshop に表示されている画像を、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力からビデオモニタに出力し、Photoshop で作成した画像をビデオ素材に使用したり、あらかじめビデオに最適化した色合いに調整しておくなどの作業が行えます。

1 Photoshop を起動し、ビデオ出力を行うファイルを開きます。

※ あらかじめ、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

2 ［ファイル］メニューの［書き出し］から［Canopus Video Out］を選択します。



ビデオモニタに静止画が表示されます。

POINT Photoshop CS では、［書き出し］コマンドをアクションで実行することができません。キーボードのショートカットでご使用になる場合は、［編集］-［キーボードショートカット］で登録する必要があります。

Chapter 5

ADVC Mode Controller

1 ADVC Mode Controllerの機能

POINT ADVC Mode Controllerは、エクスパンションボード装着時に使用できるアプリケーションソフトウェアです。

ADVCモード
ADVCモードは、VELXUSをコンバータとして使用します。ADVCモード中は、EDIUSからVELXUSを認識しません。

EDIUSモード
VELXUSをEDIUSから使用します。ADVC Mode Controllerを使用しない場合と同様の動作モードです。

Non Nodeモード
OHCI対応アプリケーションソフトから、エクスパンションボードのDV端子に接続したDVカメラを正常に操作できない場合、このモードにすると問題が解決する場合があります。

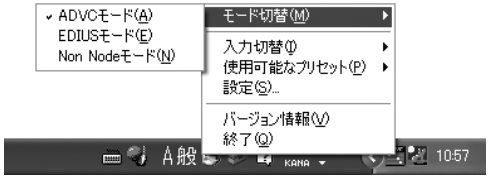
ADVCモードの使用

1 ADVC Mode Controllerを起動します。

起動するとタスクトレイに常駐します。

POINT ADVC Mode Controllerを初めて起動したときに、次のダイアログが表示されます。ご使用の環境に合わせてビデオスタンダードを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

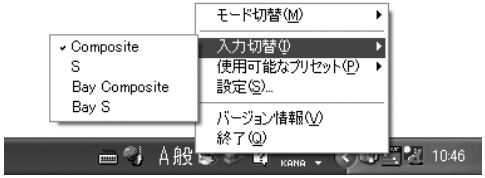
2 アイコンをクリックし、［モード切替］から［ADVC モード］を選択します。



※ 編集アプリケーションソフトの起動中はモード切替を行わないでください。

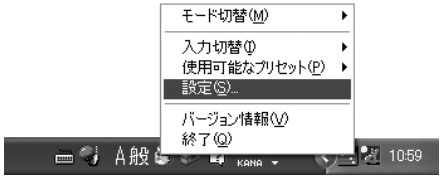
POINT EDIUS モードで使用する場合は、EDIUS を起動する前に、ADVC Mode Controller を起動し、モード選択をしておきます。

3 入力先を選択します。



4 プリセットを選択します。

5 設定ダイアログを開き、設定を行います。



POINT ADVC モード設定については、「設定ダイアログ」P106 を参照してください。

設定ダイアログ

設定内容は、ADVC モードで有効になります。

Composite 入力 /S 入力

※ VELXUS Bay（オプション）を使用している場合は、「Bay Composite 入力 /Bay S 入力」が表示されます。設定内容は「Composite 入力 /S 入力」の場合と同じです。

明るさ	映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。
色相	映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。
彩度	色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。
シャープネス	映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。
詳細画質調整	［詳細画質調整］ダイアログを表示します。
セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。
コンポーネントレベル	NHX-E1/E2 では使用できません。

ゲインコントロール（マニュアル / オート）	映像輝度を設定します。マニュアルは輝度を手動で設定します。オートの場合は、自動で輝度を最適に調整します。
オーディオマッピング	NHX-E1/E2 では使用できません。
コントロールマッピング	NHX-E1/E2 では使用できません。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

［詳細画質調整］ダイアログ

◇［3次元 / 2次元映像処理］タブ

3 次元処理	3 次元ノイズリダクション、および 3 次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。
2 次元処理	非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3 次元処理とは別に設定することが可能です。
輝度成分ノイズ除去	輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。
色成分ノイズ除去	色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

◇［白 / 黒ゲイン］タブ

黒ゲイン自動調整	輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。
適応レベル	黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。
しきい値	どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。
白ゲイン自動調整	輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。［なし］に設定した場合、［適応レベル］、［しきい値］の項目は無効になります。
適応レベル	白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。
しきい値	どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

◇［輪郭強調］タブ

輪郭強調（水平）	水平方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
輪郭強調（垂直）	垂直方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

一般入出力

セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。
コンポーネント出力レベル	NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。
Wide Screen Signaling を有効にする	Wide Screen Signal（WSS：アスペクト比を切り替えるための信号）に対応したテレビの場合は、自動でアスペクト比（4：3、または 16：9）が切り替わります。WSS が不要な場合は、チェックを外してください。
標準の状態に戻す	＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

付　録

1 ハードウェア仕様

メインボード

VELXUS 500LE（NHX-E1）

PCI 規格	PCI Spec. Revision 2.1　HD/SD 編集時（64bit/66MHz） SD 編集のみ（32bit/33MHz 対応）	
デジタルビデオ	DV 端子（DV4pin × 1） ※HDV の入出力にはエクスパンションボード、または OHCI ボードが必要です。	
アナログビデオ	入力	S 端子（ミニ DIN7 ピン）× 1 ※S ビデオケーブルを直接接続可能です。 ※ピンジャック（コンポジット）端子はアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。
	出力	S 端子（ミニ DIN7 ピン）× 1 ※S ビデオケーブルを直接接続可能です。 ※ピンジャック（コンポジット）端子はアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。
アナログオーディオ	入力	ステレオミニジャック× 1 ※ピンジャック端子はオーディオ変換ケーブルを使用して接続します。
	出力	ステレオミニジャック× 1 ※ピンジャック端子はオーディオ変換ケーブルを使用して接続します。
サイズ	212 mm（幅 107mm）	
最大消費電流	32bit PCI（SD 編集時）+5V：2.2A、+12V：440mA、-12V：160mA 64bit PCI（HD 編集時）+5V：2.4A、+12V：440mA、-12V：160mA	
質量	約 250 g	

VELXUS 300（NHX-E2）

PCI Express 規格	PCI Express x1（PCI Express Spec. Revision 1.1）	
デジタルビデオ	DV 端子（DV4pin × 1） ※HDV の入出力にはエクスパンションボード、または OHCI ボードが必要です。	
アナログビデオ	入力	S 端子（ミニ DIN7 ピン）× 1 ※S ビデオケーブルを直接接続可能です。 ※ピンジャック（コンポジット）端子はアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。
	出力	S 端子（ミニ DIN7 ピン）× 1 ※S ビデオケーブルを直接接続可能です。 ※ピンジャック（コンポジット）端子はアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。
アナログオーディオ	入力	ステレオミニジャック× 1 ※ピンジャック端子はオーディオ変換ケーブルを使用して接続します。
	出力	ステレオミニジャック× 1 ※ピンジャック端子はオーディオ変換ケーブルを使用して接続します。
サイズ	212 mm（幅 111mm）	
最大消費電流	+12V：2.3A、+3.3V：1.3A	
質量	約 240 g	

エクスパンションボード（HX-HD1）

PCI 規格	PCI Spec. Revision 2.1（32bit/33MHz 対応）	
アナログビデオ	出力	HD/SD コンポーネント（BNC × 3）
アナログオーディオ	出力	アンバランスオーディオ 2ch（ピンジャック× 2） ※メインボードのオーディオ出力を同時使用が可能。
サイズ	120 mm（幅 93 mm）	
最大消費電流	+5V：200mA、+12V：100mA、-12V：100mA	
質量	約 110 g	

VELXUS Bay（NHX-B10）（オプション）

デジタル ビデオ	DV 端子（DV4pin）× 1	
アナログ ビデオ	入力	ピンジャック× 1 S 端子× 1
	出力	ピンジャック× 1 S 端子× 1
アナログ オーディオ	入力	ピンジャック× 2（ステレオ 1 系統）
	出力	ピンジャック× 2（ステレオ 1 系統）

2 コーデックについて

推奨コーデック

推奨コーデック	用途
DVCPRO HD	DVCPRO HD（IEEE1394 経由で使用時）
DVCPRO50	DVCPRO 50
Canopus DV	DV AVI
Canopus HQ	HDCAM、HDV(1080i/720p)、DVCPRO HD
Uncompressed D1	D1、Digital Betacam、Betacam、MPEG IMX（非圧縮）
Canopus Lossless	D1、Digital Betacam、Betacam、MPEG IMX（可逆圧縮）

Canopus HQ

• HD、SD 両対応
• 推奨入力デッキ HDCAM ／ HDV

画質一定の圧縮方式でハードディスクへの書き込みビットレートが変化するコーデックです。単純な画像を圧縮する場合は低ビットレート、複雑な映像を圧縮する場合は高ビットレートに変化します。HDCAM（140 Mbps）や HDV（25 Mbps）素材のキャプチャに使用します。

非常に複雑な映像が入力された場合は高ビットレートになり、ハードディスクへのキャプチャが間に合わない場合がありますので、最大ビットレートを制限しています。

［Online（標準）］と［Online（Fine）］の 2 種類プリセットされています。デフォルトは［Online（標準）］です。

それぞれの最高ビットレートは次のようになります。

• ［Online（標準）］設定時 : 約 220 Mbps
• ［Online（Fine）］設定時 : 約 300 Mbps

DVCPRO HD

• HD のみ対応
• 推奨入力デッキ DVCPRO HD

パナソニック製 DVCPRO HD と同等のコーデックです。DVCPRO HD のデッキ等に使用します。設定項目はありません。ビットレート一定型のコーデックでビットレートは 100 Mbps となります。

DVCPRO50

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ DVCPRO 50
パナソニック製 DVCPRO 50 と同等のコーデックです。DVCPRO 50 対応デッキからの入出力に使用します。設定項目はありません。ビットレート一定型のコーデックでビットレートは 50 Mbps となります。

Uncompressed D1

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ D1、Betacam、Digital Betacam、MPEG IMX
画像圧縮作業を行わない非圧縮の設定です。ハードディスクの容量を消費しますが圧縮処理を行わないので CPU リソースをほとんど消費しません。ただしハードディスクの性能がリアルタイム性能と比例します。リアルタイム性能を向上させたい場合は Canopus HQ コーデックの利用をおすすめします。また、RAID などの高性能ハードディスクを使えば、リアルタイム再生の限界を上げることが可能です。ビットレートは一定で約 168 Mbps となります。

Canopus Lossless

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ D1、Betacam、Digital Betacam、MPEG IMX
可逆圧縮型のコーデックです。非圧縮と同じ映像になります。非圧縮より CPU リソースを消費しますが、データ量が少ないためハードディスクのデータ入出力が少なくなります。素材によってはエンコード、デコード作業に CPU リソースを消費し、リアルタイム性能が低下することがあります。設定項目はありません。可逆圧縮型なので映像素材によりビットレートが変化します。最大のビットレートは SD 非圧縮と同じ約 168 Mbps となります。

Canopus DV

• SD のみ対応
• 推奨入力デッキ DV ／ DVCAM
DV コーデック形式の圧縮方式です。Canopus DV コーデックは高圧縮かつ高速エンコード、デコードが可能なためリアルタイム性能が高いです。ビットレートは一定で 25 Mbps となります。

各コーデックと 1 時間あたりの必要ディスク容量

フォーマット	インターフェース	推奨コーデック	ビットレート概算（Mbps）	必要ディスク容量 概算 (GB/hour)
DV	IEEE1394	Canopus DV	25	14*3
DVCAM	IEEE1394	Canopus DV	25	14*3
DVCPRO 25	–	–	25	14*3
DVCPRO 50	IEEE1394	DVCPRO50	50	28*4
Betacam	アナログコンポーネント	Canopus Lossless	VBR（映像により変化）	–
		Uncompressed D1	168	77*3
		Canopus HQ	VBR *1（映像により変化）	24*1、*3
Digital Betacam	SDI	Canopus Lossless	VBR（映像により変化）	–
		Uncompressed D1	168	77*4
		Canopus HQ	VBR *1（映像により変化）	24*1、*4
HDV	IEEE1394	Canopus HQ	VBR *2（映像により変化）	102*2、*3
HDCAM	HD-SDI	Canopus HQ	VBR *2（映像により変化）	102*2、*4
DVCPRO HD	HD-SDI/ IEEE1394	DVCPRO HD	100	55*5

*1 Canopus HQ（720x486）オンライン（通常）画質
デフォルトモード理論最大ビット値における数値 = 50.4 Mbps
*2 Canopus HQ（1440x1080）オンライン（通常）画質
デフォルトモード理論最大ビット値における数値 = 225 Mbps
*3 オーディオビットレート 48kHz/16bit/2ch
*4 オーディオビットレート 48kHz/16bit/4ch
*5 オーディオビットレート 48kHz/16bit/8ch
* DVCPRO 25 は IEEE1394 ストリームとして取り扱いはできません。

3 入出力フォーマット一覧

編集プロファイル

Generic OHCI SD NTSC

プリセット	コーデック	用途	備考
DVCPRO50 59.94i 4:3	DVCPRO50	DVCPRO 50	※ 1
DVCPRO50 59.94i 16:9		DVCPRO 50	※ 1
DV 59.94i 4:3, 48kHz	Canopus DV		
DV 59.94i 4:3, 44.1kHz			
DV 59.94i 4:3, 32kHz 2ch			
DV 59.94i 4:3, 32kHz 4ch			
DV 59.94i 16:9, 48kHz		AG-DVX100 等	
DV 59.94i 16:9, 44.1kHz		AG-DVX100 等	
DV 59.94i 16:9, 32kHz 2ch		AG-DVX100 等	
DV 59.94i 16:9, 32kHz 4ch		AG-DVX100 等	
DV 29.97p over 59.94i 4:3, 48kHz		AG-DVX100 等	
DV 29.97p over 59.94i 16:9, 48kHz		AG-DVX100 等	
HDV 480/59.94p 16:9	Canopus HQ	HDV(JVC)	

ご注意 ※1：CODEC Option 使用時
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

Generic OHCI SD PAL

プリセット	コーデック	用途	備考
DVCPRO50 50i 4:3	DVCPRO50	DVCPRO 50	※1
DVCPRO50 50i 16:9		DVCPRO 50	※1
DV 50i 4:3, 48kHz	Canopus DV		
DV 50i 4:3, 44.1kHz			
DV 50i 4:3, 32kHz 2ch			
DV 50i 4:3, 32kHz 4ch			
DV 50i 16:9, 48kHz			
DV 50i 16:9, 44.1kHz			
DV 50i 16:9, 32kHz 2ch			
DV 50i 16:9, 32kHz 4ch			
DV 25p over 50i 4:3, 48kHz		AG-DVX100等	
DV 25p over 50i 16:9, 48kHz		AG-DVX100等	
HDV 576/50p 4:3	Canopus HQ	HDV(JVC)	
HDV 576/50p 16:9		HDV(JVC)	
HDV 576/25p 16:9		HDV(JVC)	

Generic OHCI SD 24Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
DV 23.98p over 59.94i 4:3, 48kHz	Canopus DV	AG-DVX100等	
DV 23.98p over 59.94i 16:9, 48kHz		AG-DVX100等	
DV 23.98pA over 59.94i 4:3, 48kHz		AG-DVX100等	
DV 23.98pA over 59.94i 16:9, 48kHz		AG-DVX100等	

Generic OHCI HD 60Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
Full HD 1080/59.94i	Canopus HQ		
HDCAM/HDV 1080/59.94i		HDV(Sony/Canon)	
HDV 1080/29.97p		HDV(Canon)	
HDV 720/29.97p		HDV(JVC)	
DVCPRO HD 1080/59.94i	DVCPRO HD		※1
DVCPRO HD 1080/29.97p over 59.94i			※3
DVCPRO HD 720/59.94p			※2or3
DVCPRO HD 720/29.97p over 59.94p			※2or3

ご注意
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

※1：CODEC Option 使用時
※2：CODEC Option + Varicam Option 使用時
※3：CODEC Option + P2 Option 使用時

Generic OHCI HD 50Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
Full HD 1080/50i	Canopus HQ		
HDCAM/HDV 1080/50i		HDV(Sony/Canon)	
HDV 1080/25p		HDV(Canon)	
HDV 720/25p		HDV(JVC)	
DVCPRO HD 1080/50i	DVCPRO HD		※1
DVCPRO HD 1080/25p over 50i			※3
DVCPRO HD 720/50p			※2or3
DVCPRO HD 720/25p over 50p			※2or3
DVCPRO HD 720/50p over 60p			※2or3
DVCPRO HD 720/25p over 60p			※2or3

Generic OHCI HD 24Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
HDV 1080/23.98p	Canopus HQ	HDV(Canon)	
HDV 720/23.98p		HDV(JVC)	
DVCPRO HD 1080/23.98p over 59.94i	DVCPRO HD		※3
DVCPRO HD 1080/23.98pA over 59.94i			※3
DVCPRO HD 720/23.98p over 59.94p			※2or3
DVCPRO HD 720/24p over 60p			※2or3

NHX-E1/E2 SD NTSC

プリセット	コーデック	用途	備考
D1 59.94i 4:3	非圧縮（YUY2）		
D1 59.94i 16:9			
DV 59.94i 4:3	Canopus DV		
DV 59.94i 16:9			
DV 29.97p over 59.94i 4:3		AG-DVX100等	
DV 29.97p over 59.94i 16:9		AG-DVX100等	

ご注意
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

※1：CODEC Option 使用時
※2：CODEC Option + Varicam Option 使用時
※3：CODEC Option + P2 Option 使用時

NHX-E1/E2 SD PAL

プリセット	コーデック	用途	備考
D1 50i 4:3	非圧縮（YUY2）		
D1 50i 16:9			
DV 50i 4:3	Canopus DV		
DV 50i 16:9			
DV 25p over 50i 4:3		AG-DVX100等	
DV 25p over 50i 16:9		AG-DVX100等	

NHX-E1/E2 SD 24Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
DV 23.98p over 59.94i 4:3	Canopus DV	AG-DVX100等	
DV 23.98p over 59.94i 16:9		AG-DVX100等	
DV 23.98pA over 59.94i 4:3		AG-DVX100等	
DV 23.98pA over 59.94i 16:9		AG-DVX100等	

NHX-E1/E2 HD 60Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
Full HD 1080/59.94i	Canopus HQ		
Full HD/HDV 720/59.94p			
Full HD/HDV 720/29.97p over 59.94p			
HDCAM/HDV 1080/59.94i			
HDV 1080/29.97p over 59.94i			
DVCPRO HD 1080/59.94i	DVCPRO HD		
DVCPRO HD 1080/29.97p over 59.94i			
DVCPRO HD 720/59.94p			
DVCPRO HD 720/29.97p over 59.94p			

ご注意
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

NHX-E1/E2 HD 50Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
Full HD 1080/50i	Canopus HQ		
Full HD/HDV 720/50p			
Full HD/HDV 720/25p over 50p			
HDCAM/DVCPRO HD/HDV 1080/50i			
DVCPRO HD/HDV 1080/25p over 50i	DVCPRO HD		
DVCPRO HD 720/50p			
DVCPRO HD 720/25p over 50p			

NHX-E1/E2 HD 24Hz

プリセット	コーデック	用途	備考
Full HD/HDV 720/23.98p over 59.94p	Canopus HQ		
HDV 1080/23.98p over 59.94i			
DVCPRO HD 1080/23.98p over 59.94i	DVCPRO HD		
DVCPRO HD 720/23.98p over 59.94p			

入力デバイス

Generic OHCI Input

プリセット	コーデック	用途	備考
DV 59.94i	Canopus DV		
DV 50i	Canopus DV		
DVCPRO HD 1080/59.94i	DVCPRO HD	DVCPRO HD	※ 1
DVCPRO50 59.94i	DVCPRO50	DVCPRO50	※ 1
DVCPRO HD 1080/50i	DVCPRO HD	DVCPRO HD	※ 1
DVCPRO50 50i	DVCPRO50	DVCPRO50	※ 1

Generic HDV Input

プリセット	コーデック	用途	備考
Canopus HQ 1080/59.94i	Canopus HQ	HDV (Sony / Canon)	
Canopus HQ 1080/50i			
Canopus HQ 1080/29.97p		HDV（Canon）	
Canopus HQ 1080/23.98p over 59.94i			
Canopus HQ 1080/23.98pA over 59.94i			
Canopus HQ 1080/25p			
Canopus HQ 720/29.97p		HDV（JVC）	
Canopus HQ 720/23.98p over 59.94p			
Canopus HQ 720/25p			
Canopus HQ 480/59.94p			
Canopus HQ 576/25p			
Canopus HQ 576/50p			
MPEG TS 1080/59.94i	—	HDV (Sony / Canon)	※ 2
MPEG TS 1080/50i			※ 2
MPEG TS 720/29.97p		HDV（JVC）	※ 2
MPEG TS 720/23.98p over 59.94p			※ 2
MPEG TS 720/25p			※ 2

ご注意　※1：CODEC Option 使用時
※2：HDV ネイティブの MPEG TS 形式のまま取り込みを行います。
- 用途に記載されているモデル名は一例です。

NHX-E1/E2 Composite、S

プリセット	コーデック	用途	備考
D1(Uncompressed) 50i 4:3	非圧縮（YUY2）		
D1(Uncompressed) 50i 16:9			
D1(Uncompressed) 59.94i 4:3			
D1(Uncompressed) 59.94i 16:9			
DV 50i 4:3	Canopus DV		
DV 50i 16:9			
DV 59.94i 4:3			
DV 59.94i 16:9			
Canopus HQ 50i 4:3	Canopus HQ		
Canopus HQ 50i 16:9			
Canopus HQ 59.94i 4:3			
Canopus HQ 59.94i 16:9			
Canopus Lossless 50i 4:3	Canopus Lossless		
Canopus Lossless 50i 16:9			
Canopus Lossless 59.94i 4:3			
Canopus Lossless 59.94i 16:9			

NHX-E1/E2 DV

プリセット	コーデック	用途	備考
DV 50i	Canopus DV		
DV 59.94i			